

府山青師範學校教諭赤津先生同存東京市四谷小學校校長田先

特100

423

考業之友

豐口勝治 編

45

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

始



付100

423

### 序

我が友豊口君圖書教育に熱心にして之が研究を怠らざること多年常に研究を怠らず之が進歩をはからるる余の常に敬服するところなり今回小學校に於ける考案書の資料を集輯せられ之を余に示さる通覽するに兒童に近接せる動植物數十種を選び之を圖案に應用し易き様便化したる例を掲げ且之を圖案したる例をも載せたり小學校兒童の練習用として又教育者の參考として誠に簡易適切なるものと信ず

國運の發達と國富の充實とは工藝の進歩に俟つこと大にして工藝の進歩は圖案の進歩に因ること大なり近來我が普通教育界に於て考案圖教授の進歩せる傾きあるは吾人の喜ぶところにして現時の國運は益之が發達を望まざるべからず然るに小學校向の考案書教授用として適當なる參考書甚乏しきは吾人の常に遺憾とするところなり此時に當り斯の如き簡易にして適切なるものを得たるは考案書教授上喜びに堪えざる所なり一言以て序とす

27.25

大正二年五月

赤津隆助

## 序

畏友豊口君多年我が校にありて圖書研究主任とし理論上の考究を積み更に圖書科研書學級擔任として實施上の經驗を重ねらる

本書は君が理論上の考究と實施上の結果とにより生れたるものなりされば考案書教授上の好参考書として將又兒童練習上の好伴侶として適切にして有益のものたるを信ず

一言を述べて序となす

大正二年五月

蛭田 太一郎

## はしごき

- 一、本書は専ら小學校に於ける考案書の資料として輯めたものである。
- 一、本書は小學校圖書科教師の参考乃至は兒童の圖案練用に供し、教育上の助けともなうと圖つたものである。
- 一、本書は最も兒童に接近した事物を選び容易に應用し得る様にしてある。
- 一、本書は兒童が之を敷き寫し、直ちに單位とすることが出来る様にしてある。
- 一、本書は同一物についてもなるべく各種の單位形狀を示して應用の利く様に描いたものである。
- 一、本書は兒童が工夫し易い様に、各種の模様排列式を編入したのである。
- 一、本書は植物の模様單位を主とし之れを學年の季節に従つて排列したものである。
- 一、本書は初めに便化すべき實物を掲げ次ぎに便化したものを載せ併せて圖案例二三を擧げてあつた。
- 一、本書は便化の順序方法に注意してあるから自然に便化法を會得する事が出来る。

大正二年五月

編者識

# 考案書の友

## 目次

### 第一章 圖案法

- 一、考案書に於ける單位
- 二、考案書に於ける配列
- 三、考案書に於ける色彩

### 第二章 考案例と其の資料

(イ) 考案例	其一	第一
(ロ) 考案例	其二	
(ハ) 考案例	其三	第二
(ニ) 菜の花	其一	
(ホ) 菜の花	其二	第三
(ヘ) れんげ草	其一	
(ト) れんげ草	其二	第四
(チ) たんぽぽ	其一	
(リ) たんぽぽ	其二	第五
(ヌ) あけび	其一	
(ル) あけび	其二	第六
(ヲ) 遊蝶花	其一	
(ワ) 遊蝶花	其二	第七
(カ) 朝顔	其一	
(ヨ) 朝顔	其二	第八
(タ) 花菖蒲	其一	

(レ) 花菖蒲	其二	第九
(ソ) ヒネラリヤ	其一	
(ツ) ヒネラリヤ	其二	第一〇
(子) なてしこ	其一	
(ナ) なてしこ	其二	第一一
(ラ) うまのあしがた	其一	
(ム) うまのあしがた	其二	第一二
(ウ) あぢさゝ	其一	
(井) (あぢさゝ)	其二	第一三
(ノ) けし	其一	
(オ) けし	其二	第一四
(ク) はぎ	其一	
(ヤ) はぎ	其二	第一五
(マ) もみぢ	其一	
(ケ) もみぢ	其二	第一六
(フ) 水仙	其一	
(コ) 水仙	其二	第一七
(エ) てふ	其一	
(テ) てふ	其二	第一八
(ア) 蜻蛉其他	其一	
(サ) 蜻蛉其他	其二	第一九
(キ) つばめ	其一	
(ユ) つばめ	其二	第二〇
(メ) くじやく	其一	
(ミ) くじやく	其二	第二一

# 圖案法

## 一、考案に於ける單位

考案は之を大別して二種とする。その一つは平面的の考案であつて、他の一つは立体的の考案である。平面的の考案を更に分類すると、帶模様、圍み模様、全面模様の三通りになる。

何れの模様を考案するにしても、單位の必要なことは、勿論のことである。何となれば丁度一箇の物体に、部分と綜合とがある様に考案に於ける單位はその部分に相當するものであるからである。

故に考案としては單位の研究を完全にせねばならぬ、單位の完全は、やがて模様の完全を見る所以である。

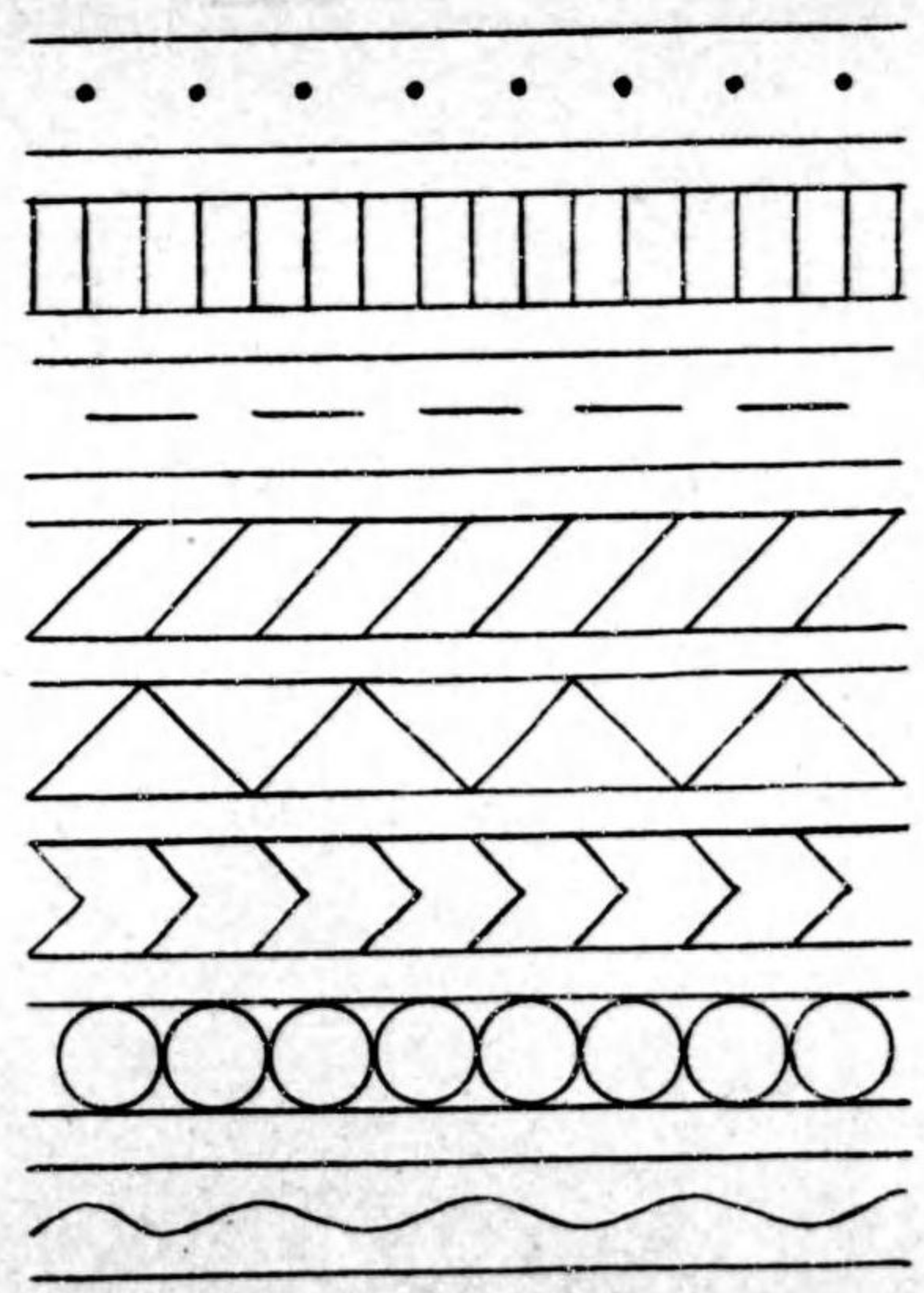
## 二、考案に於ける排列

考案に於ける單位は、一箇の物体の部分に相當する様に、考案に於ける排列は一箇の物体の綜合に當るものである、それ故に、單位の完全を期する様に排列の完全を期せねばならぬ。否排列の研究を十二分にせねばならぬ。

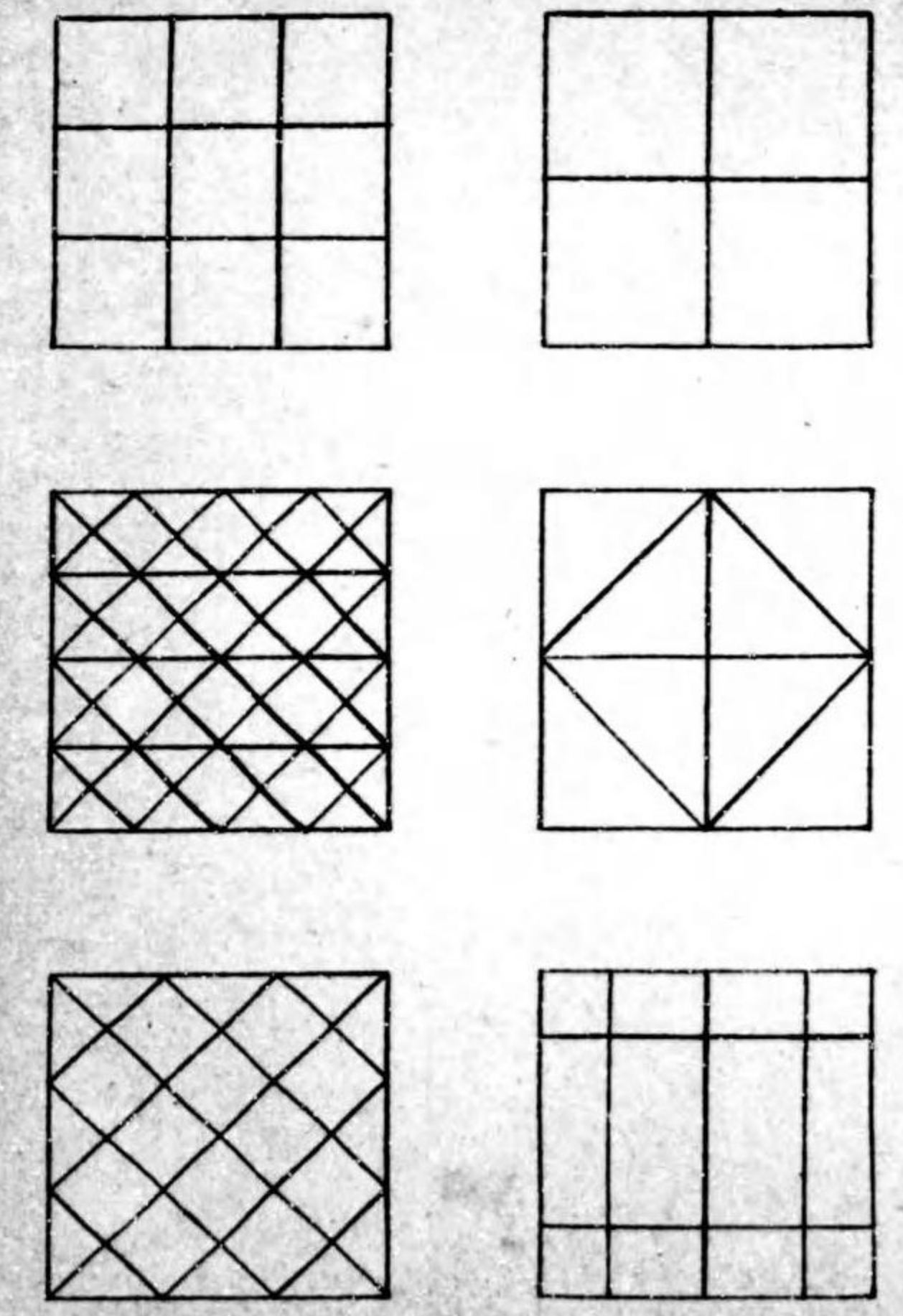
このやうに單位の完全、排列の完全は最も大切なものであつて、全く模様の生命であるといつてもよろしい。

前述の帶模様、圍み模様、全面模様は即ち排列の種類に依つて區別した名稱である。今左に排列式を示すことにした。

式列配様模帶

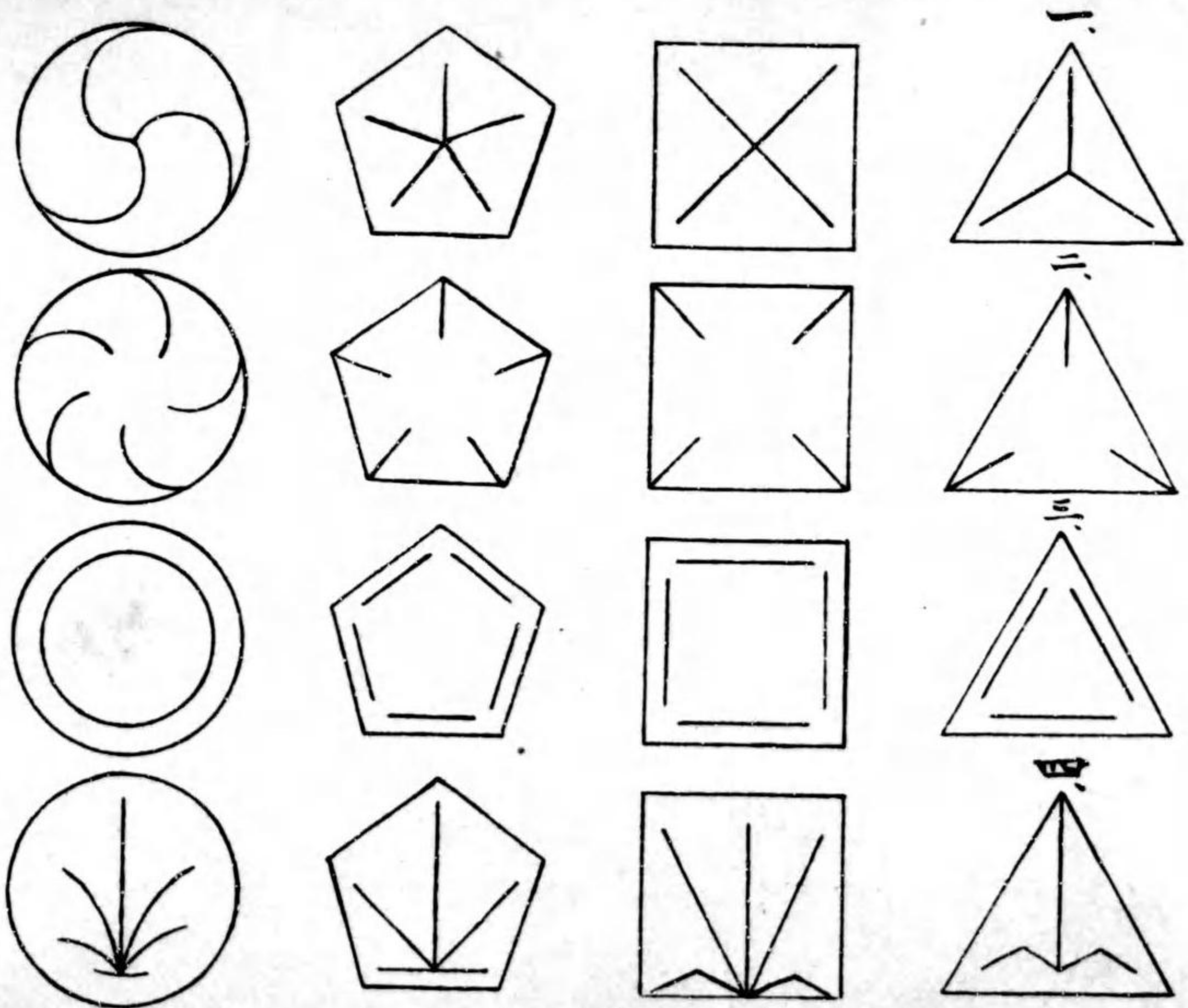


式列配様模面全



式列配様摸み團

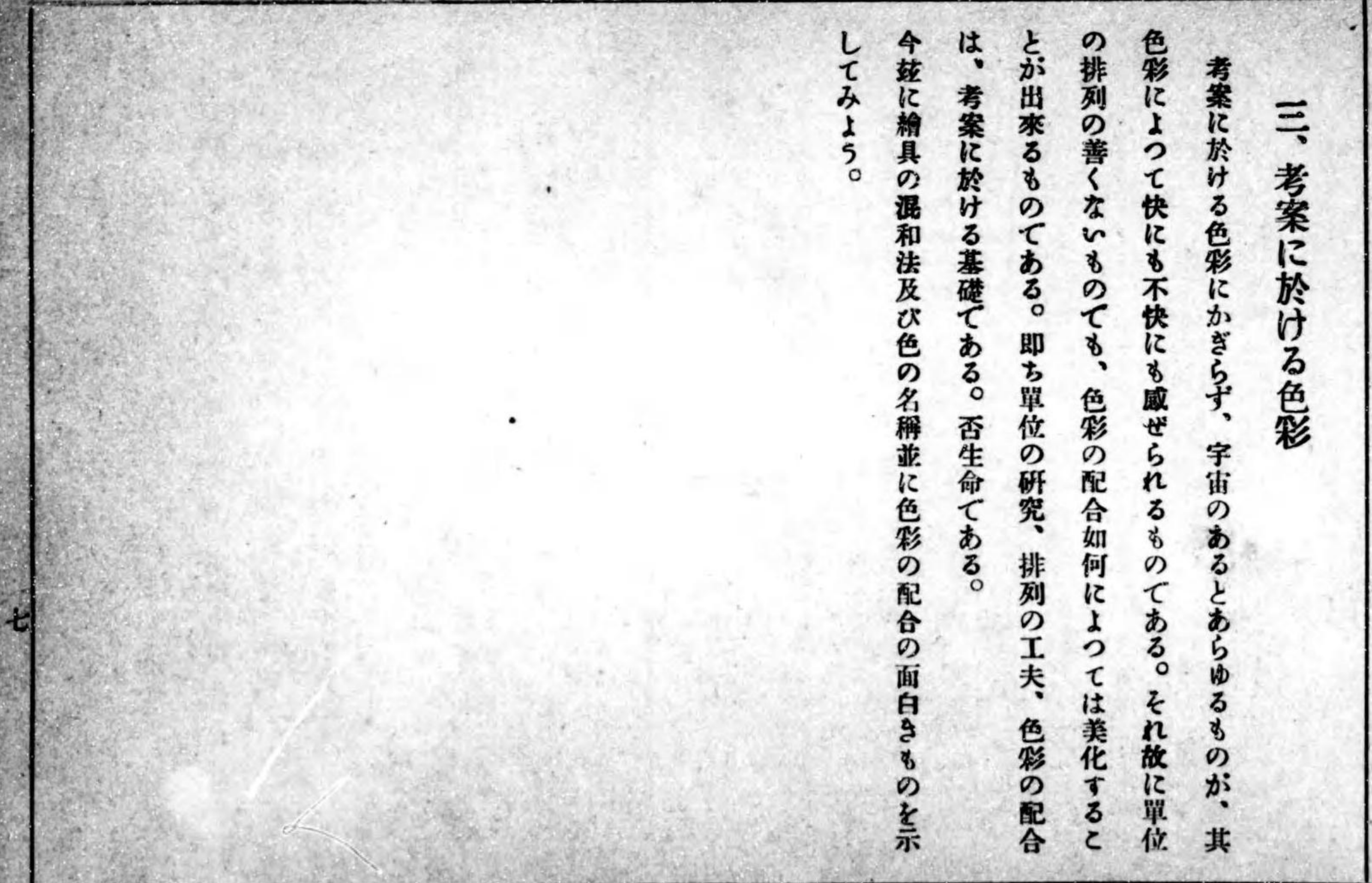
- 一は中心より周圍に向けて排列したるもの、
- 二は輪廓の隔若しくは周圍より中心に向けて列べたるもの、
- 三は輪廓の周圍に沿いて排列せしもの、
- 四は輪廓の上方に向けて排列せしもの、



三、考案に於ける色彩

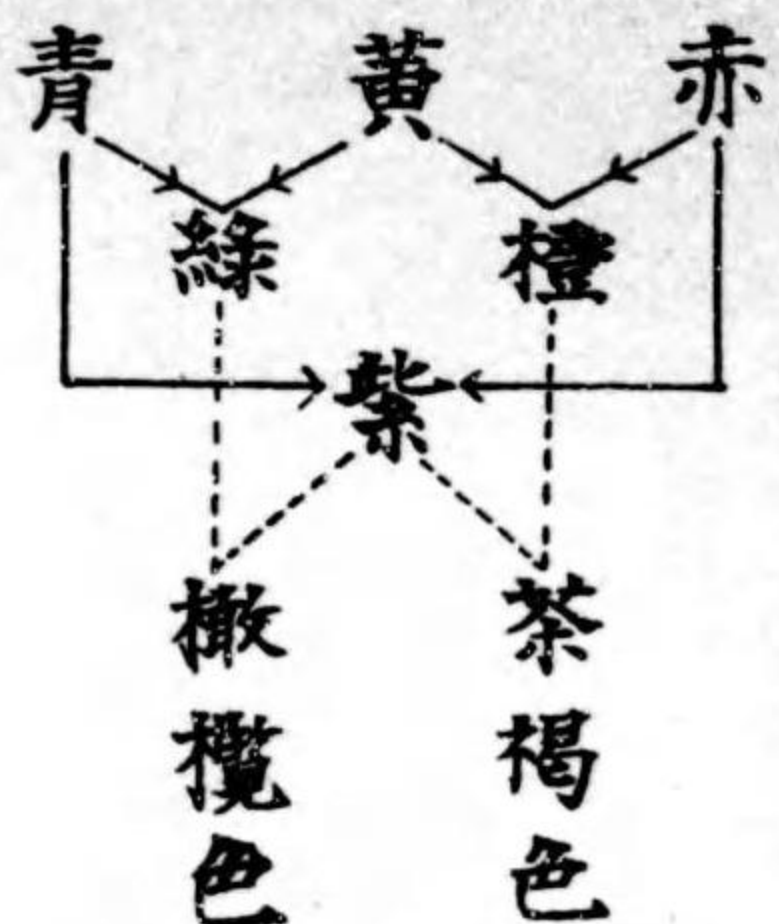
考案に於ける色彩にかぎらず、宇宙のあるとあらゆるものが、其色彩によつて快にも不快にも感ぜられるものである。それ故に單位の排列の善くないものでも、色彩の配合如何によつては美化することが出来るものである。即ち單位の研究、排列の工夫、色彩の配合は、考案に於ける基礎である。否生命である。

今茲に繪具の混和法及び色の名稱並に色彩の配合の面白きものを示してみよう。



(1) 色の混和法及び各種

其の(一)



其の(二)



其の(一)

其の(二)

赤 紫 青 緑 黄 橙 赤  
 帯赤橙色 帯黄橙色 帯黄綠色 帯青綠色 帯青紫色 帯赤紫色



(2) 善良なる色の配合

二色の配合宜しきもの

- 1、黄と青緑
- 2、帯黄緑と紫
- 3、黄橙と群青
- 4、橙と紫
- 5、赤橙と青紺
- 6、朱色と青紺
- 7、赤と赤橙
- 8、赤と青緑
- 9、黄と紫
- 10、赤橙と橙

三色の配合宜しきもの

- 1、赤と黄と青
- 2、青と帯青綠色と帯黄橙
- 3、黄と黄橙と緑
- 4、紫と淡橙黄色と青緑
- 5、橙黄赤色と青緑と帯黄綠色

四色の配合宜しきもの

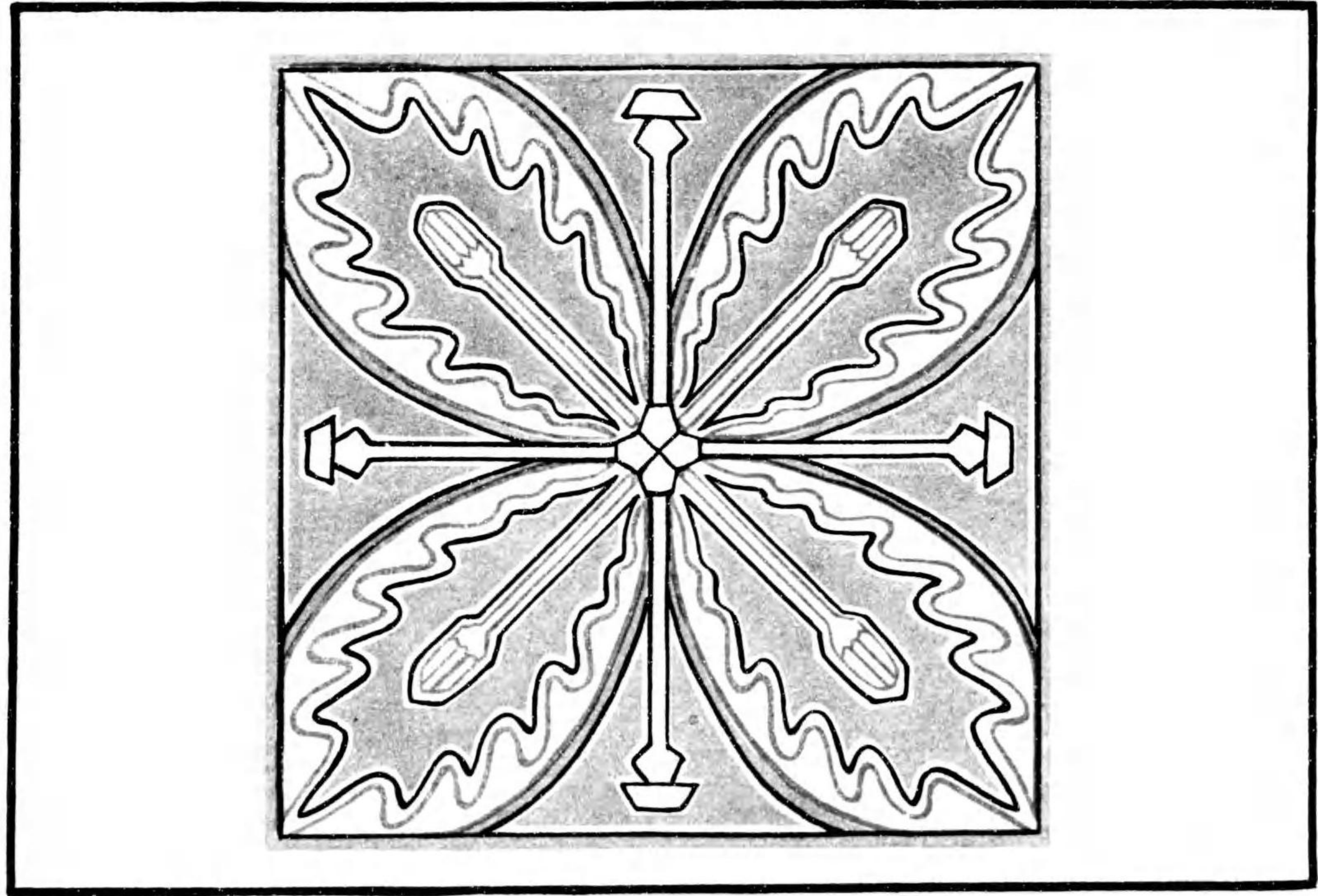
- 1、赤と青と紫と金
- 2、青と金と青緑と琥珀
- 3、青と緑と俗緒と淡黄橙

(3) 繪具の塗方

繪具を塗るには紙を畫板に懸てとめて、二十度乃至二十五度の傾斜にして、全部塗つても少し餘る位繪具を解いて、筆にふくませ、筆の先から垂れるほどにして、左上方から漸次に右下方に塗つて行き、終ひには、筆で吸ひ取らせるのである。そして塗り終つたならば、其まゝにして乾かせばよい。

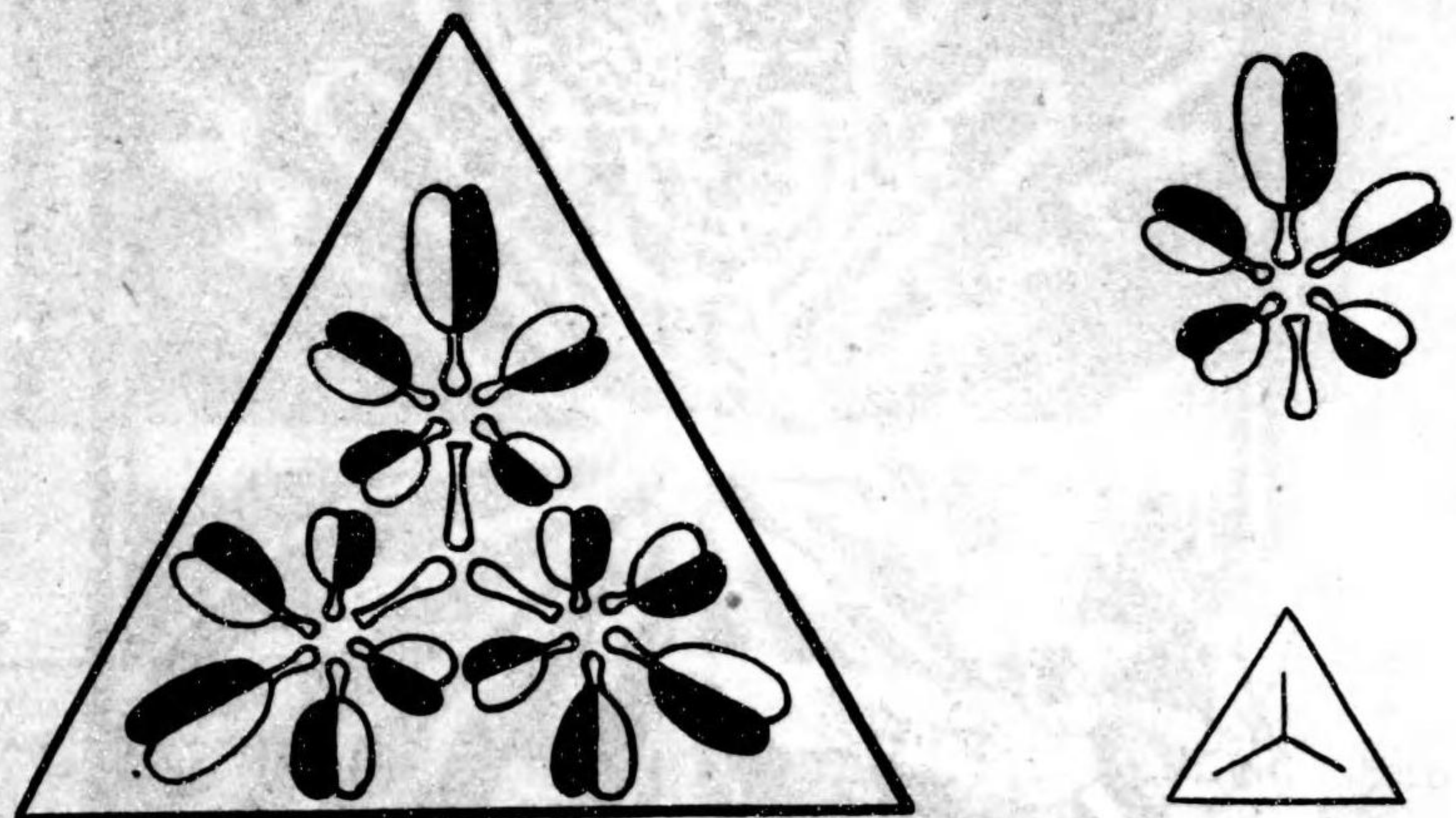


(第一)

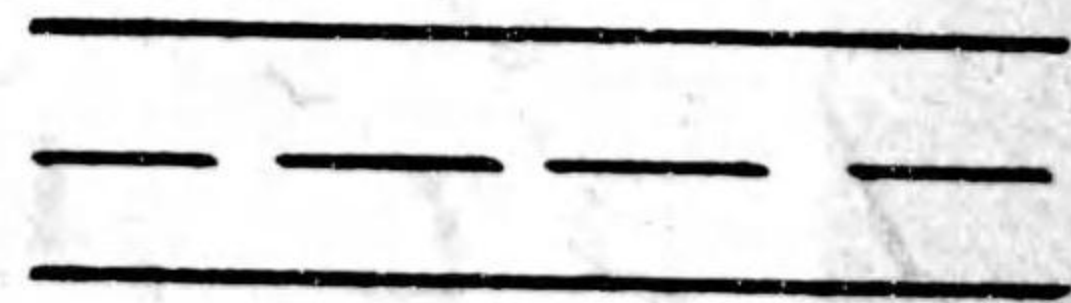
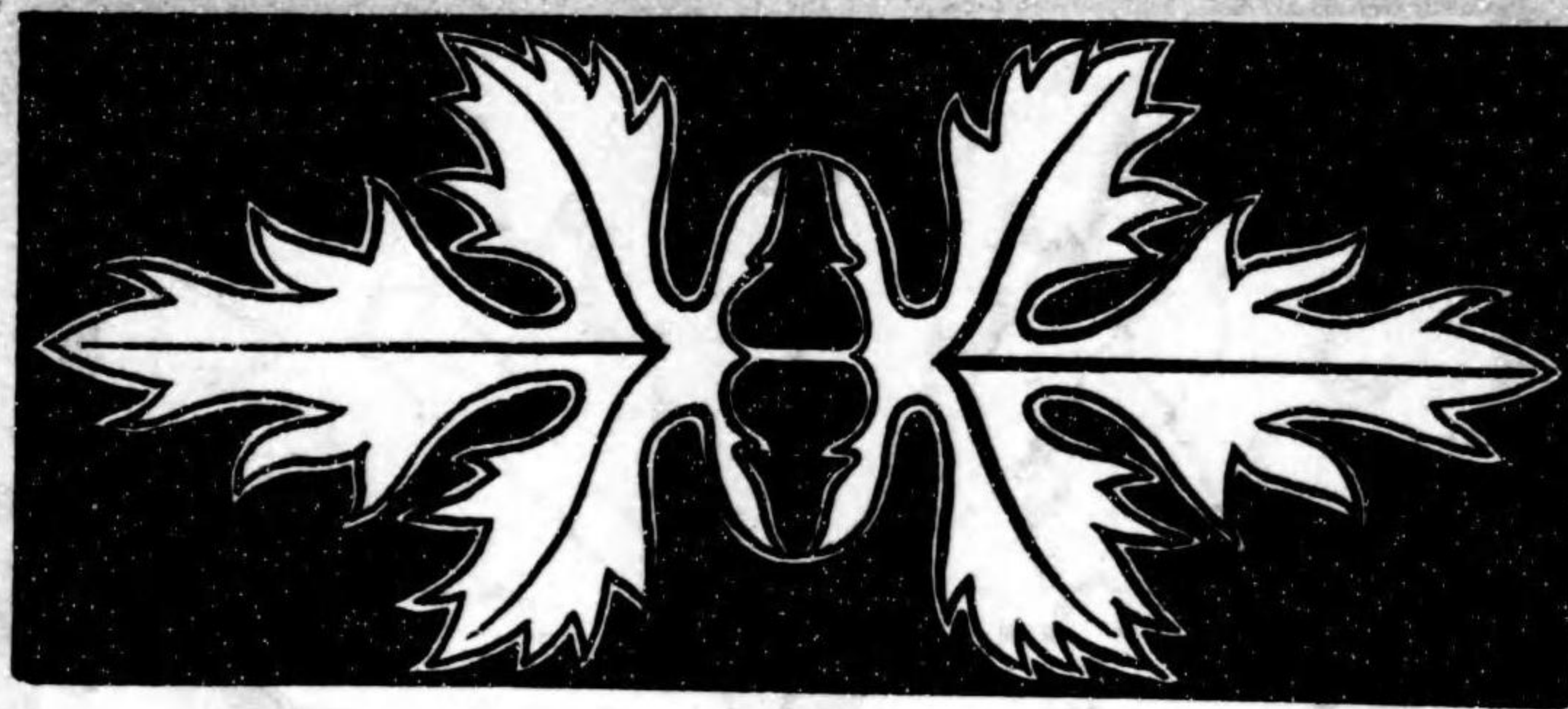


(一) 例案圖

(二)

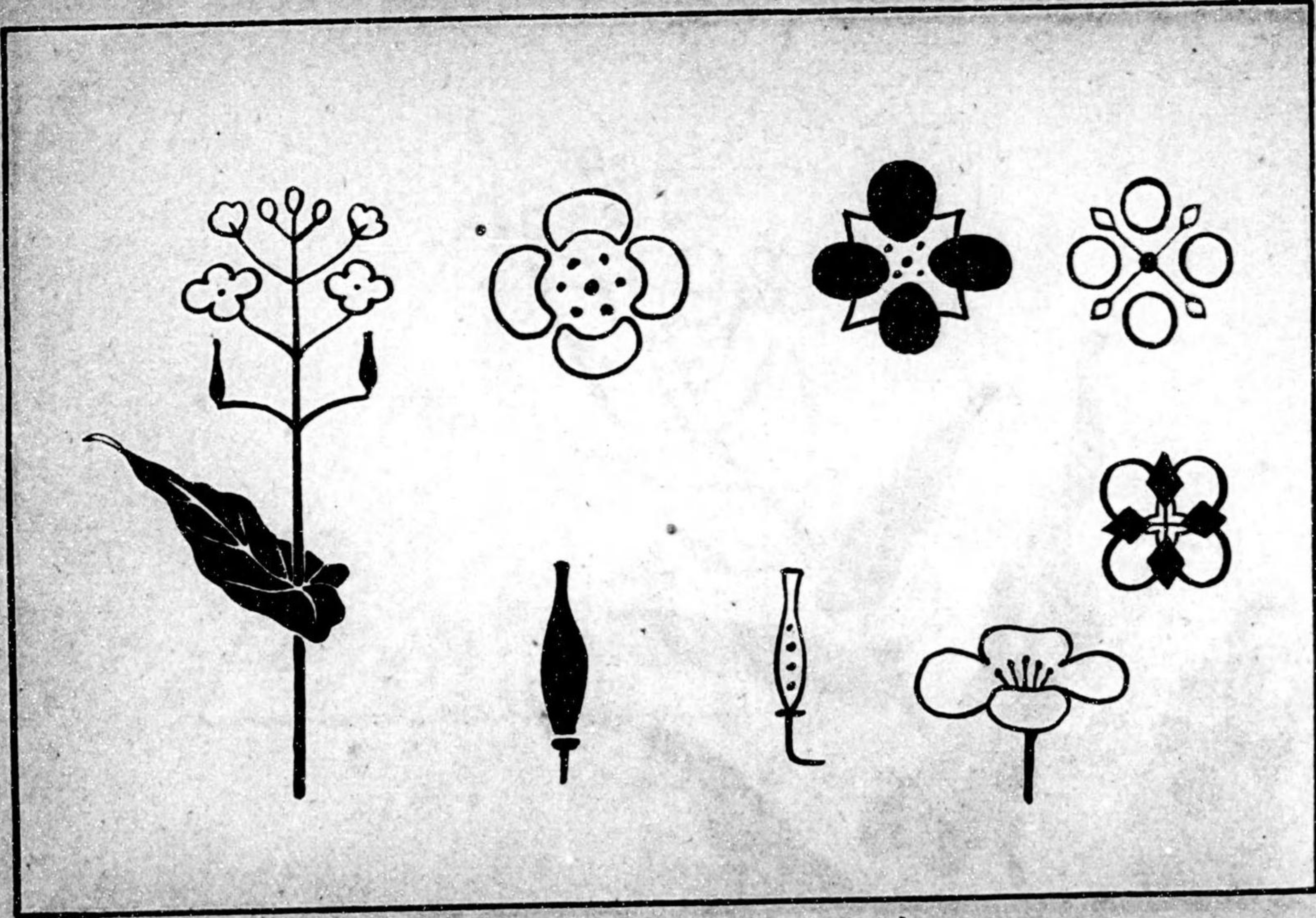


圖案例(三)



圖案例(二)

(第三)

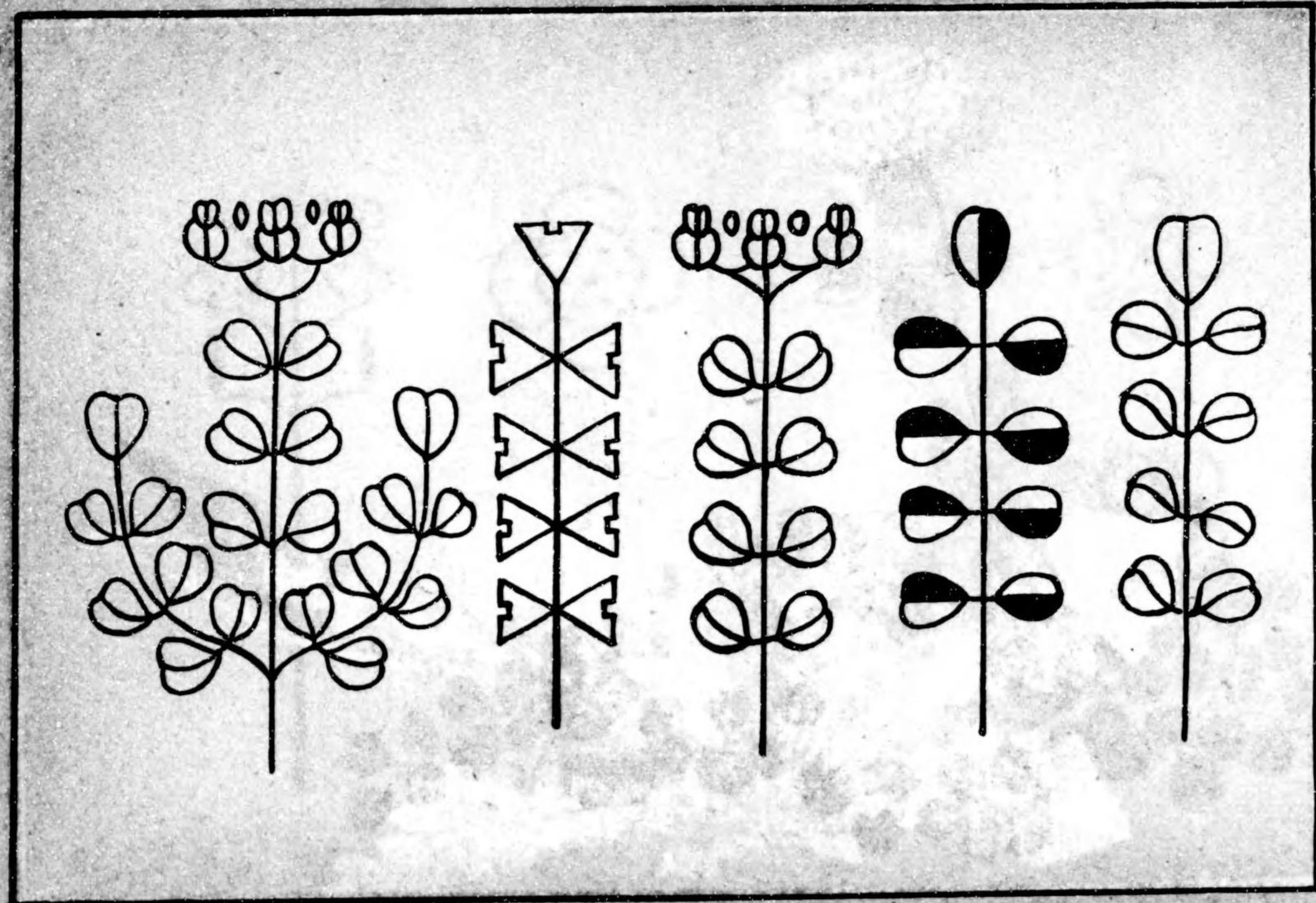


菜の花其二

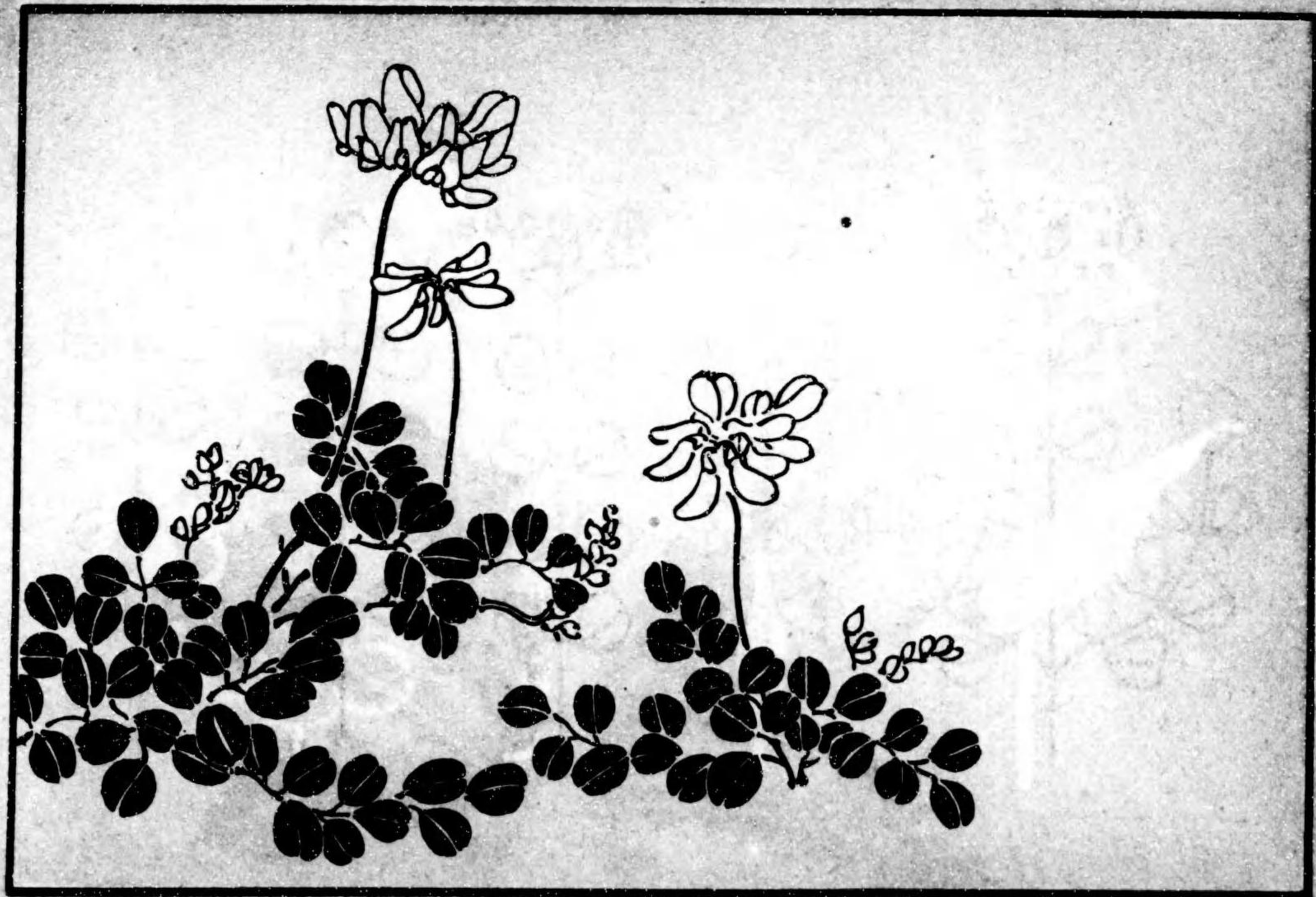


菜の花其一

(目録)

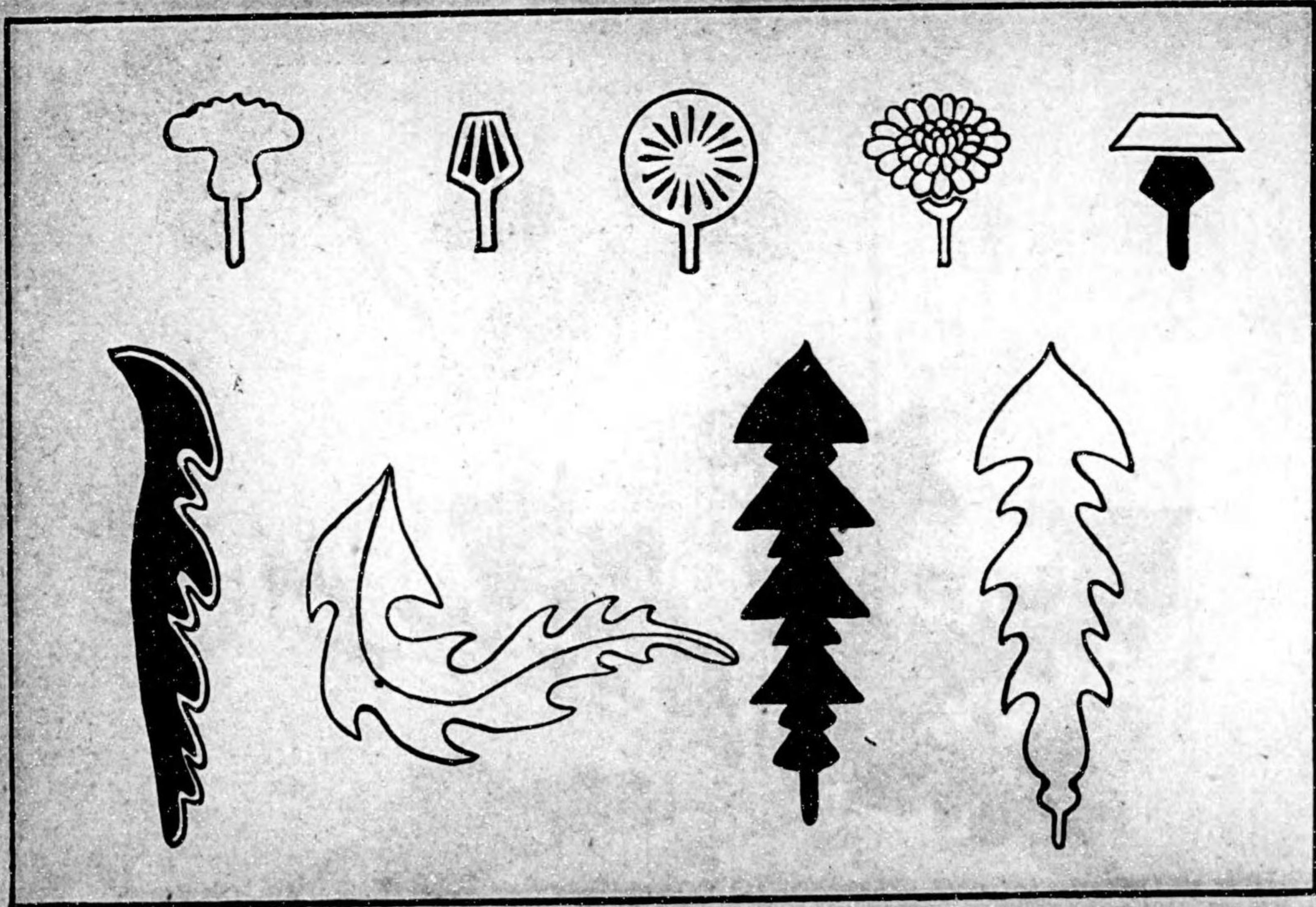


二 其 草 げ ん ね

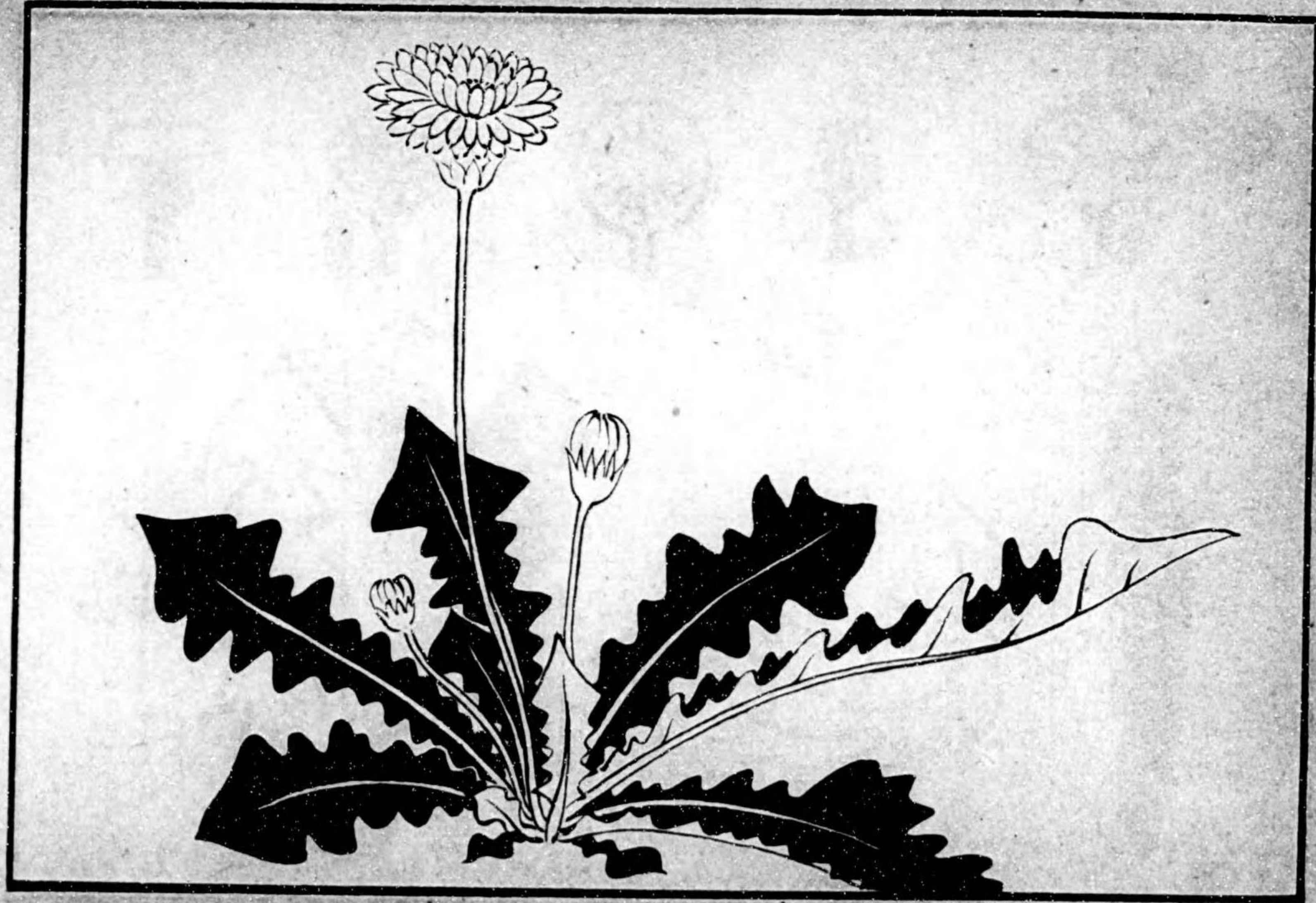


一 其 草 げ ん ね

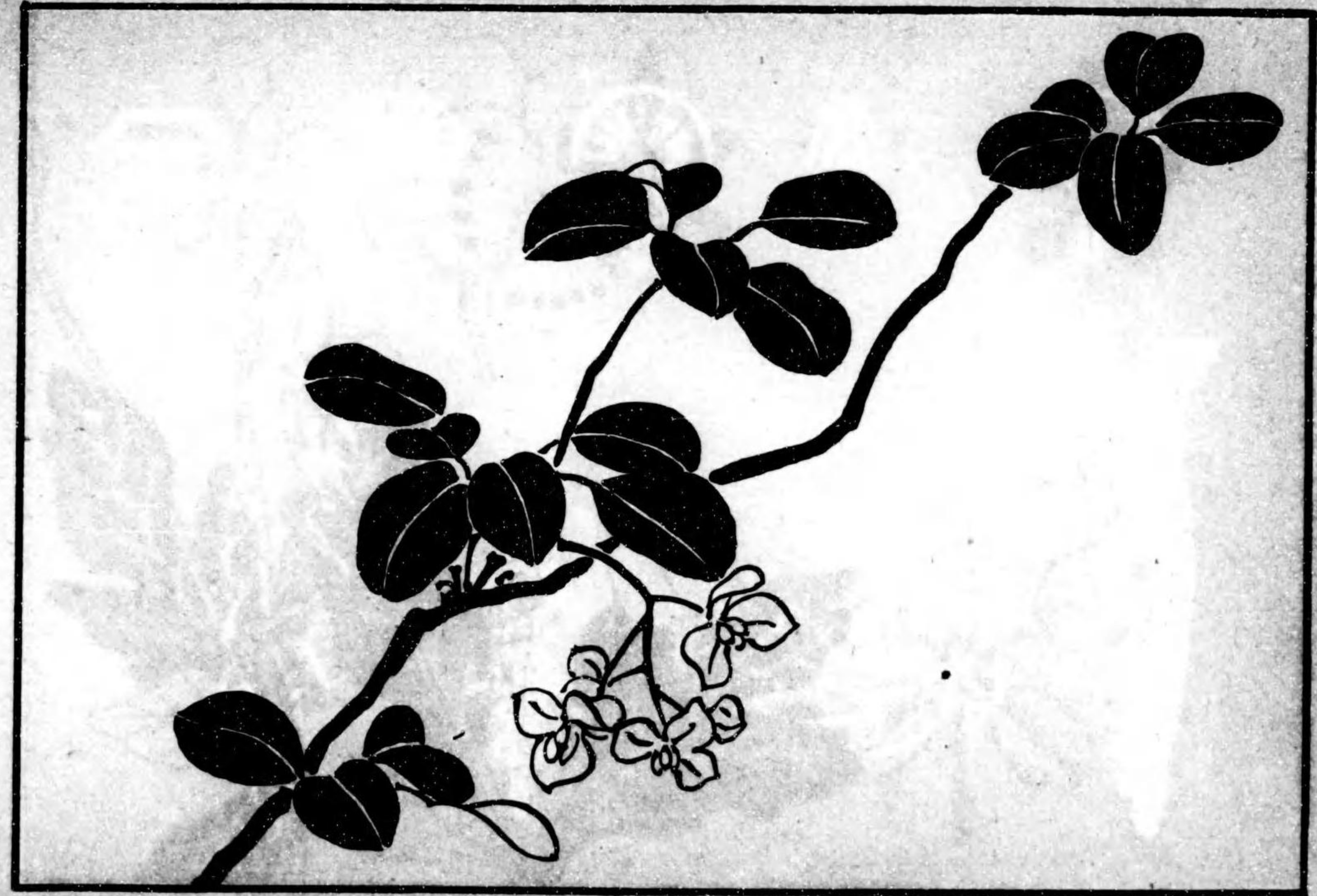
(第五)



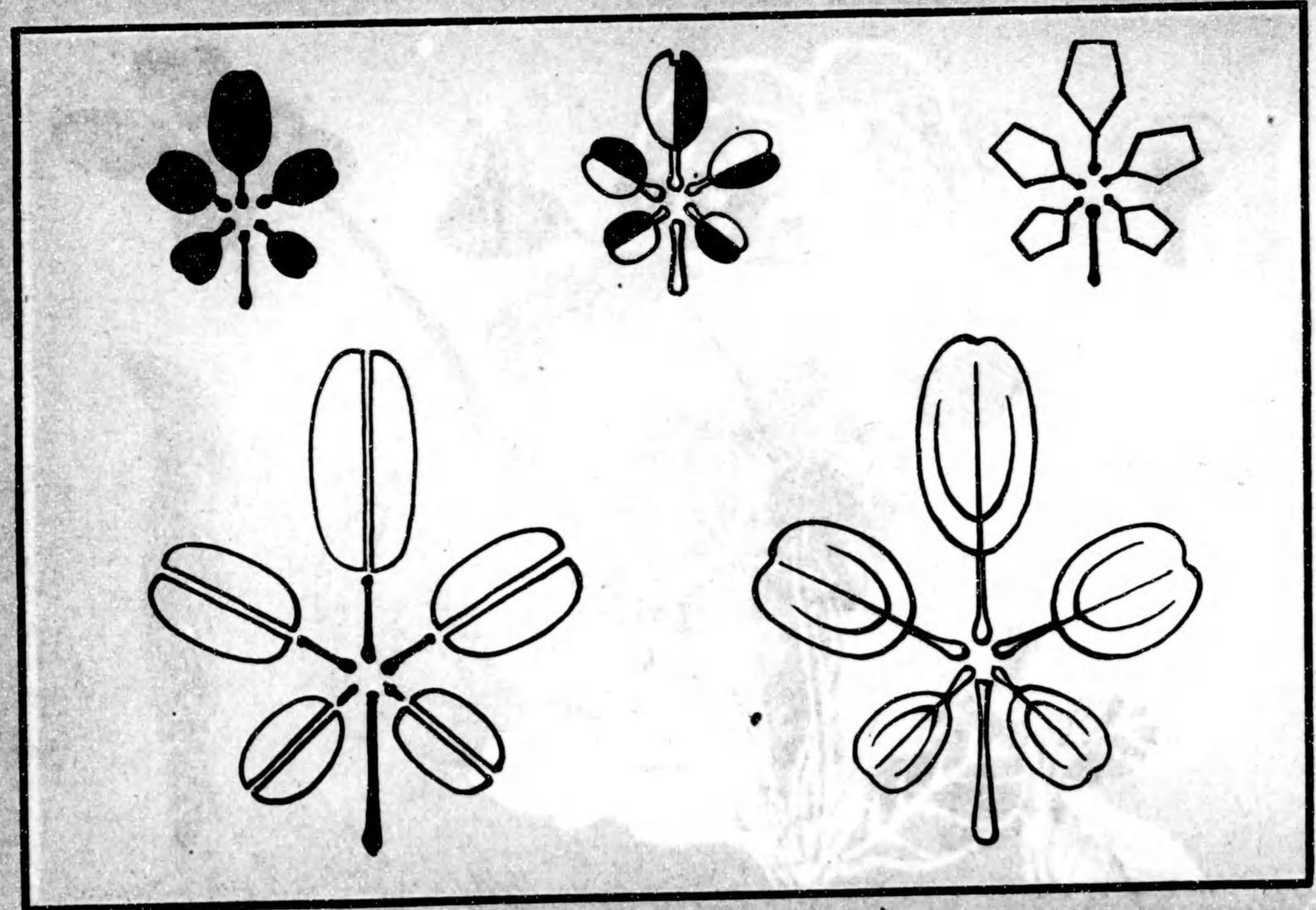
二其 ぽんた



一其 ぽんた



一 其 びけあ

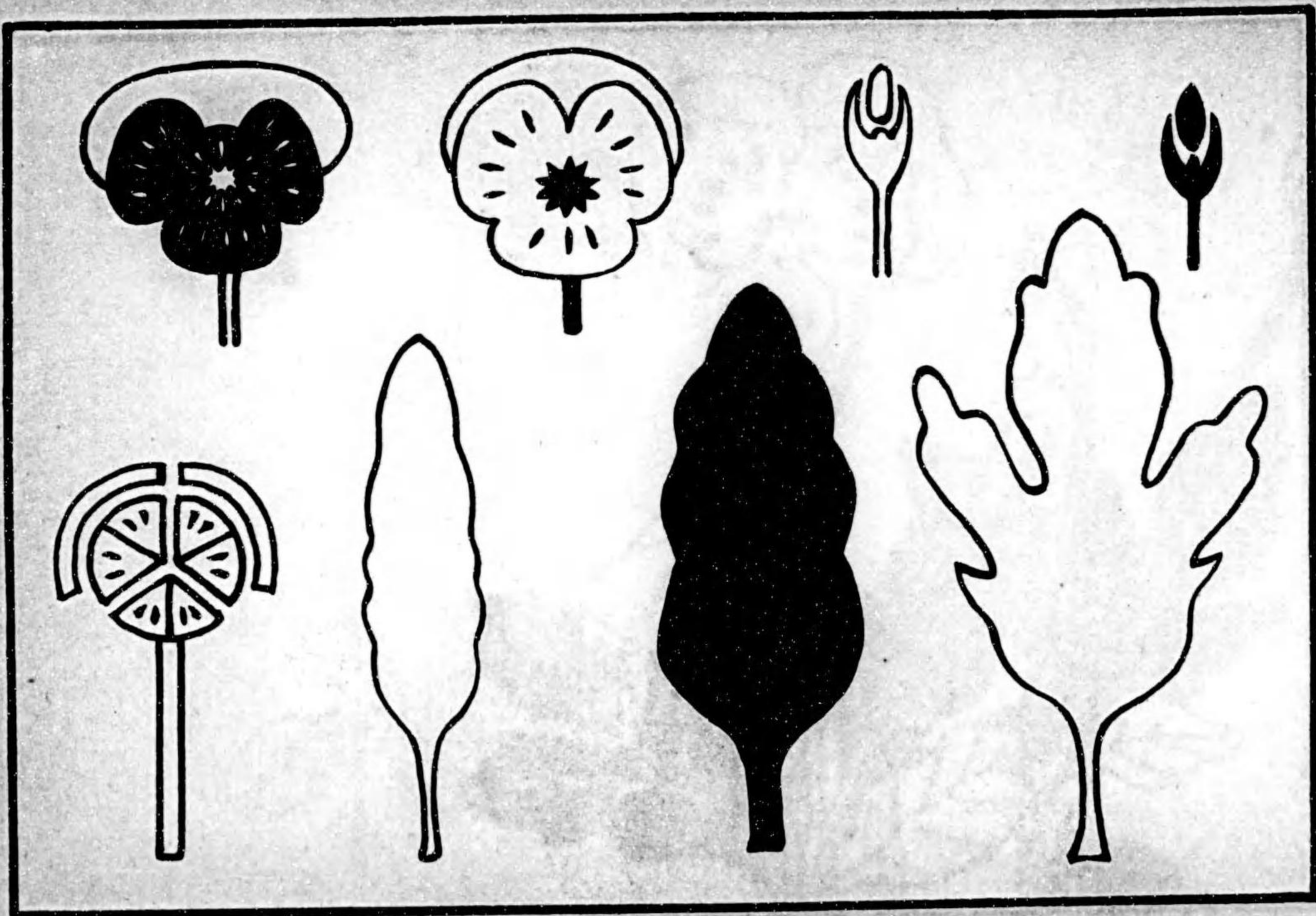


二 其 びけあ

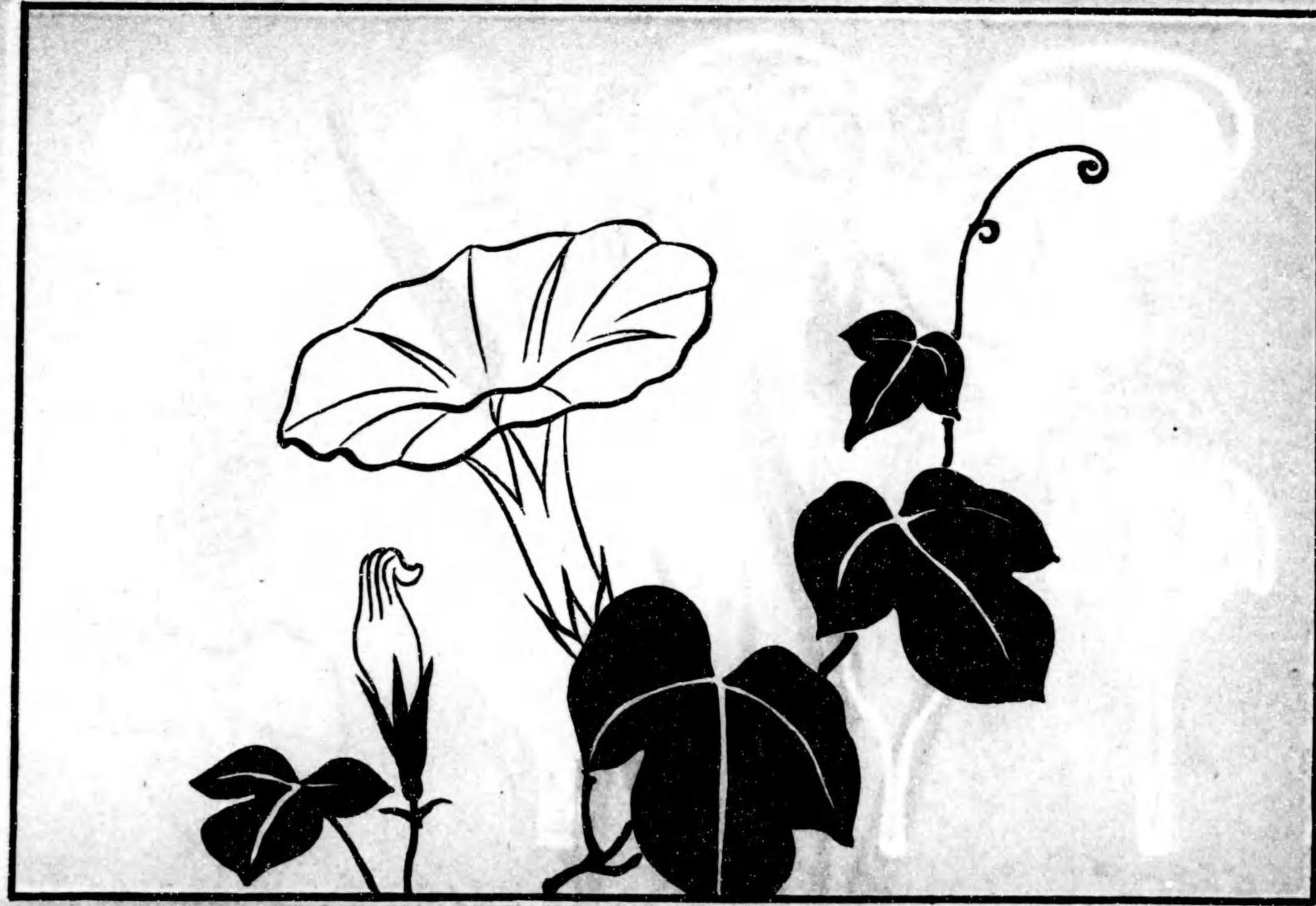
(第六)



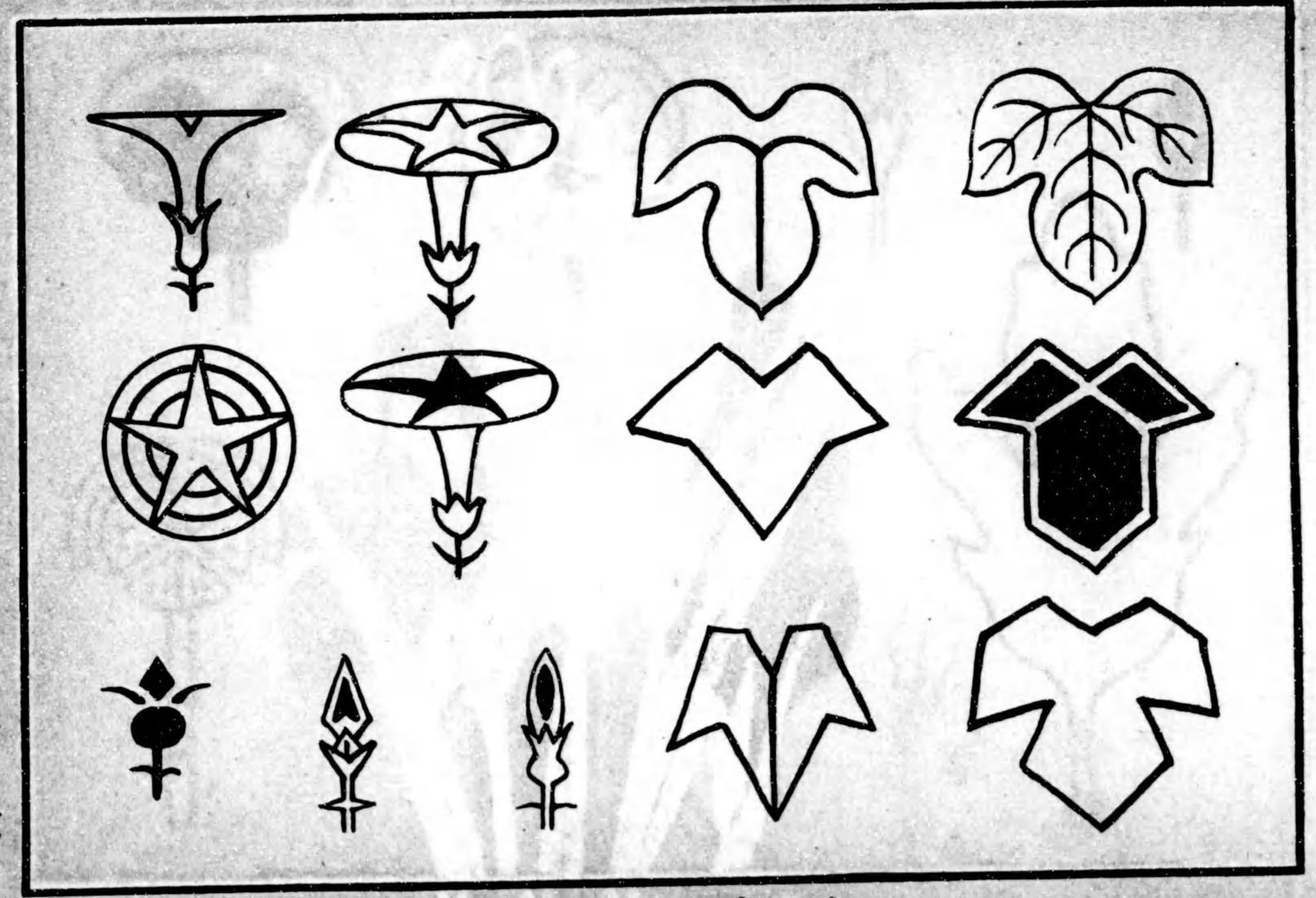
一 其 花 蝶 遊



二 其 花 蝶 遊



一 其 顏 朝



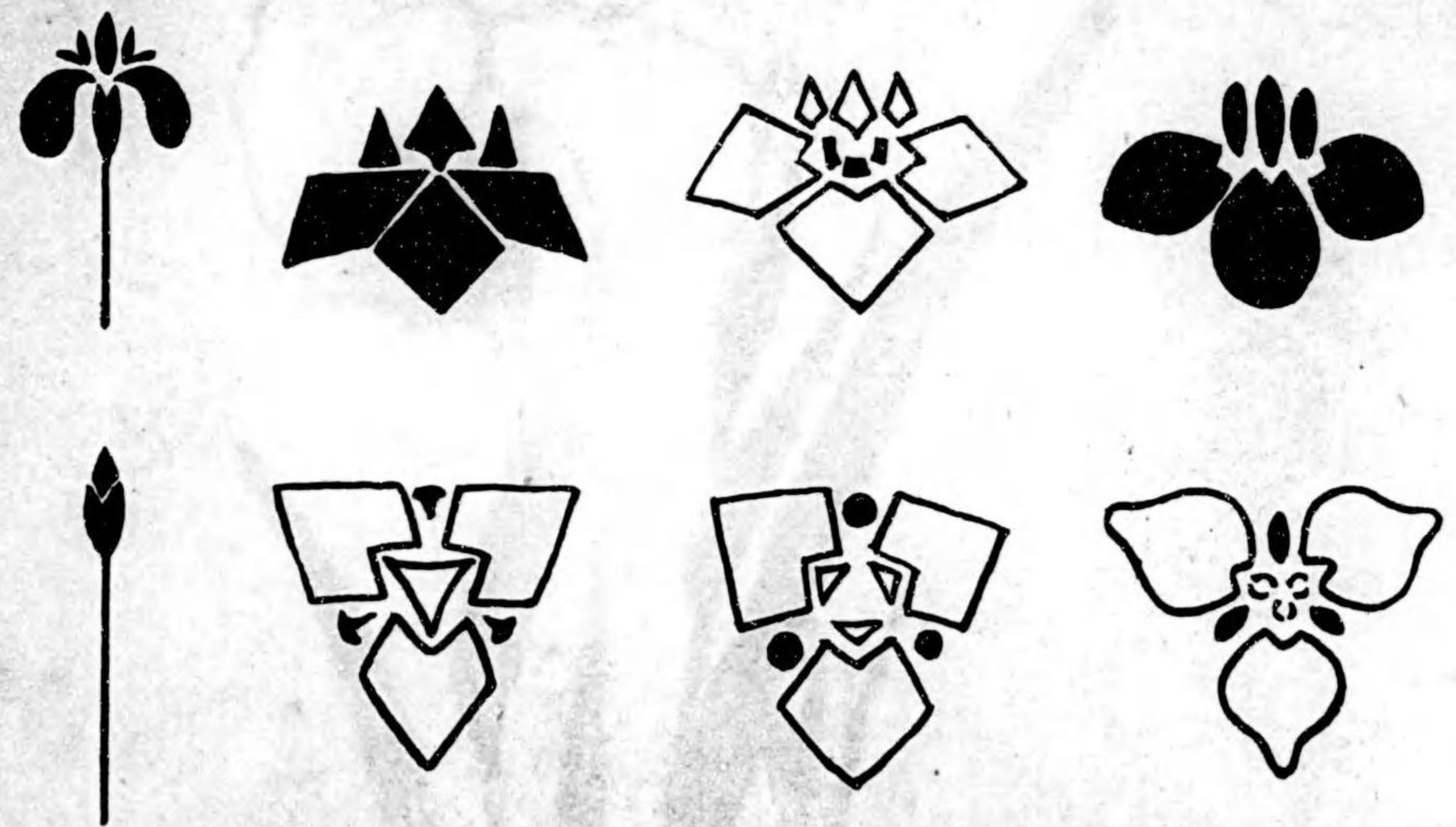
二 其 顏 朝

(第八)





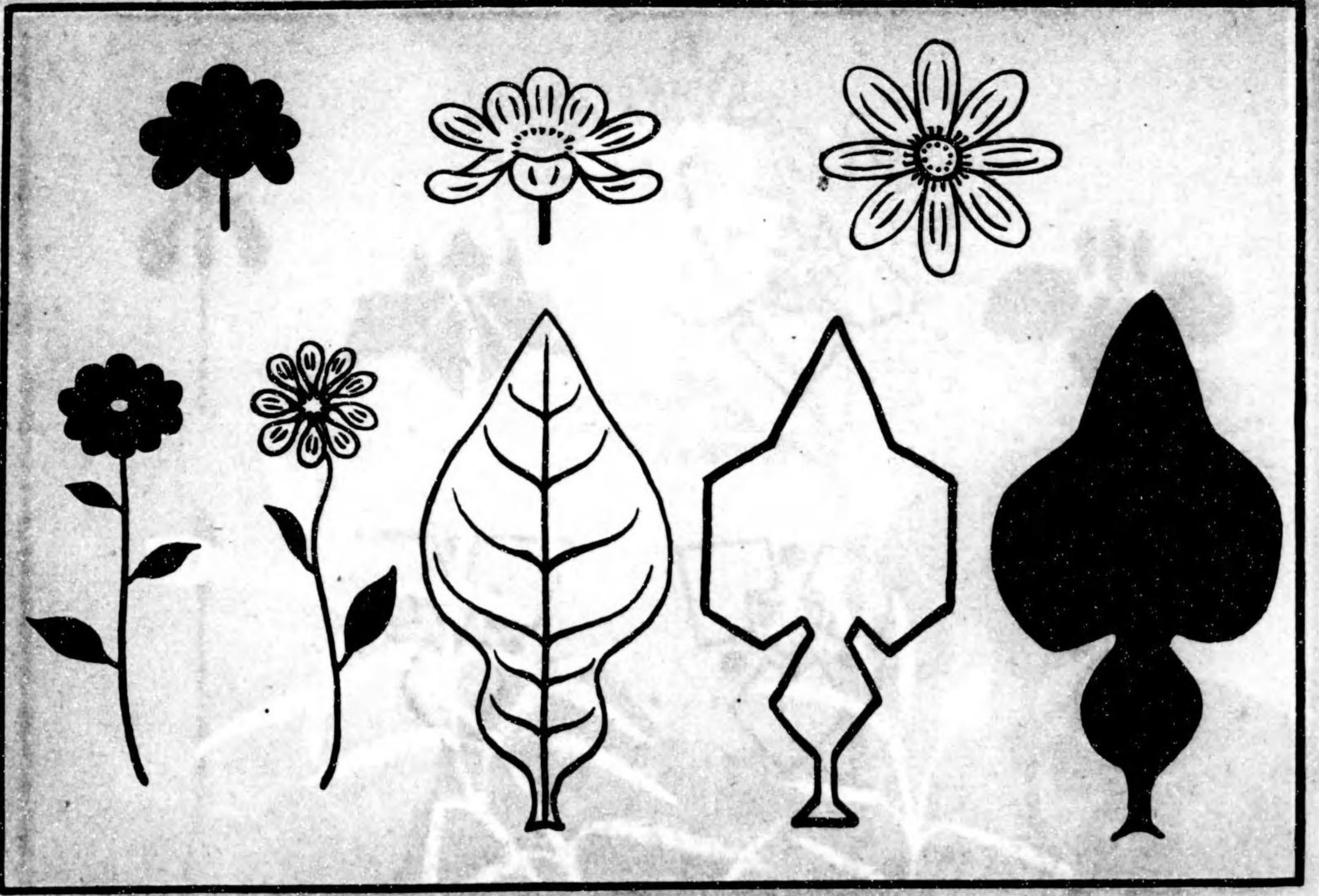
一 其 蒲 萐 花



二 其 蒲 萐 花

(第九)

(第十)



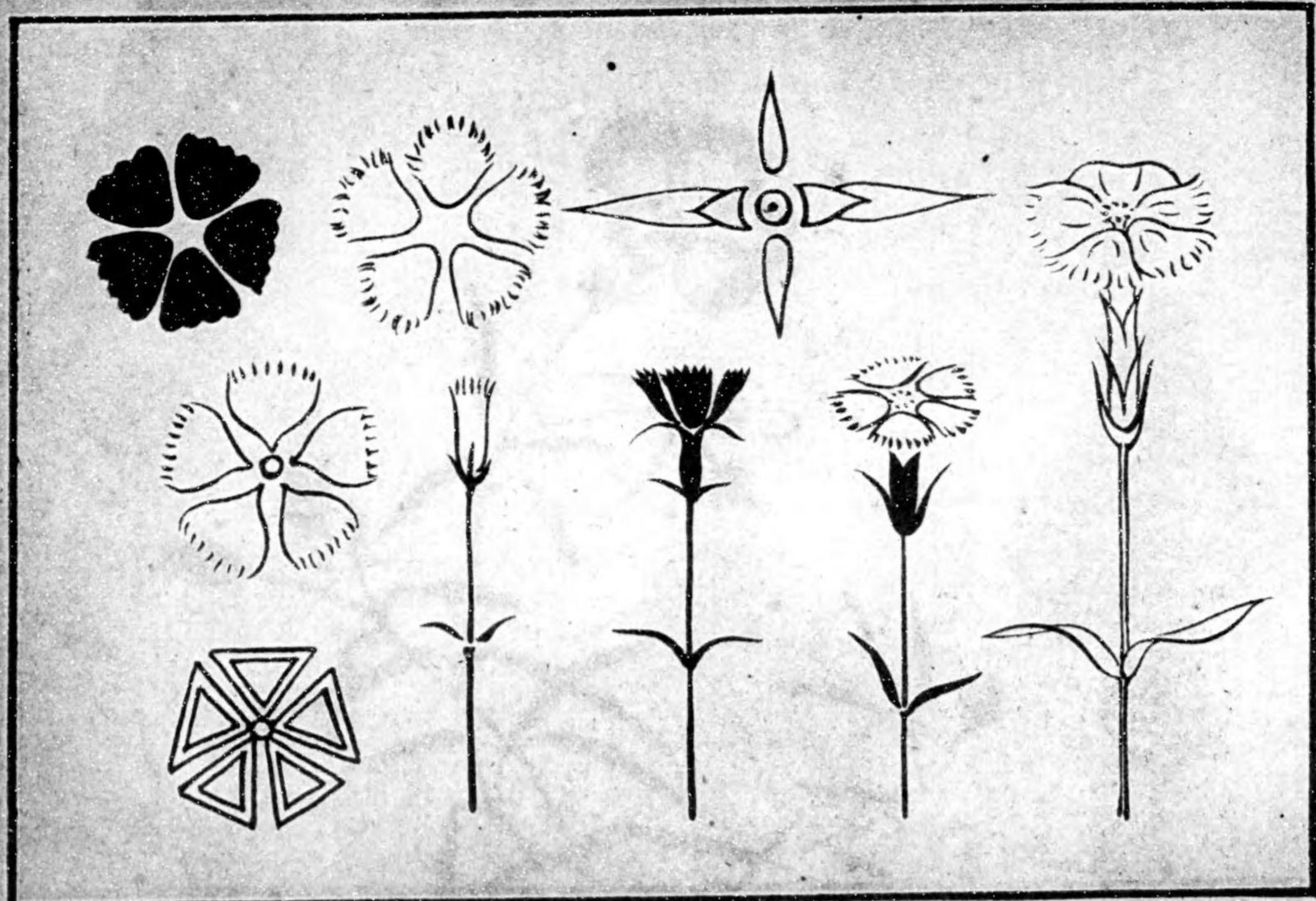
二其ヤリラネヒ



一其ヤリラネヒ



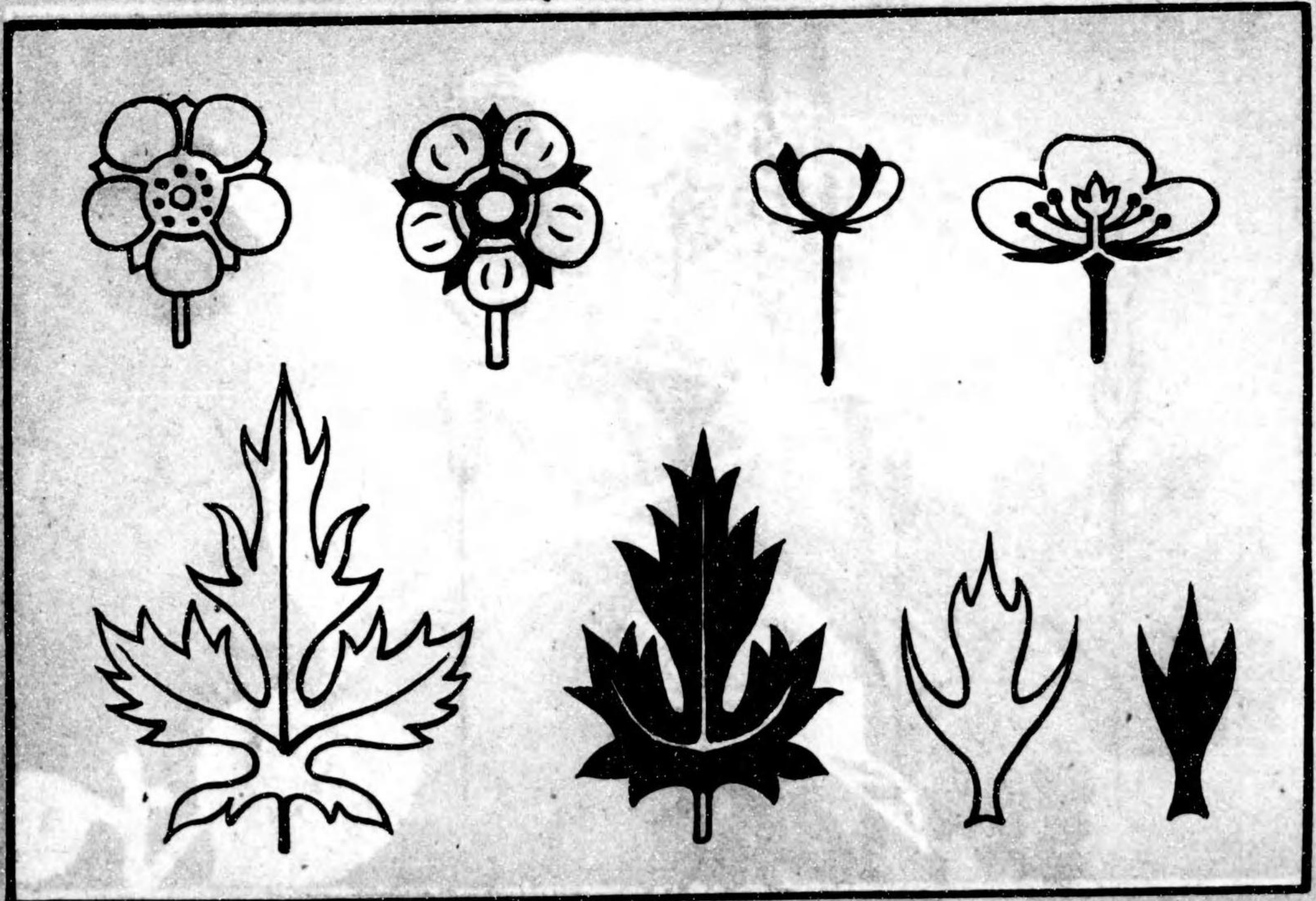
一 其 ことしでな



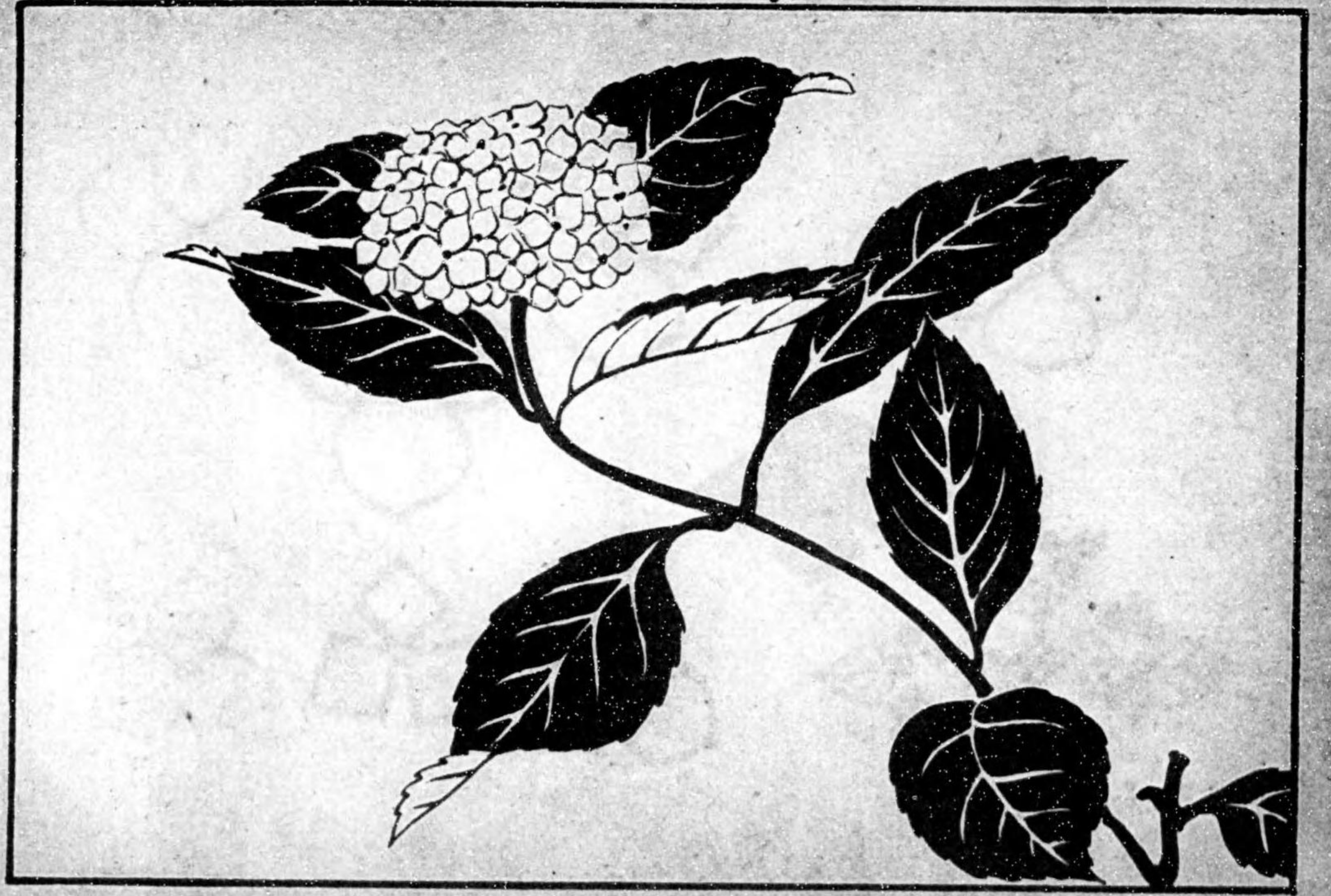
二 其 ことしでな



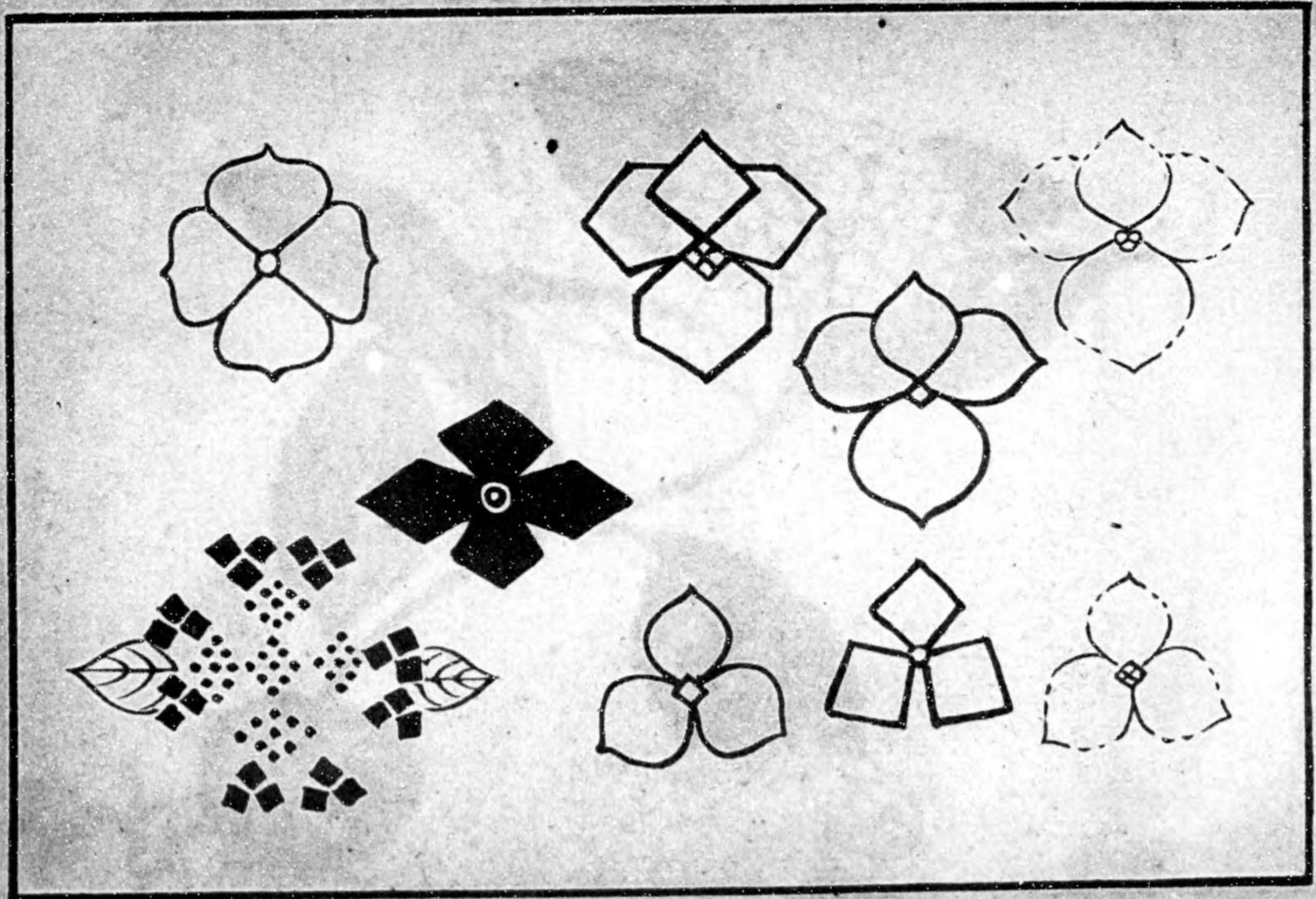
一其たがしあのまう



二其たがしあのまう



一其 いさぢあ

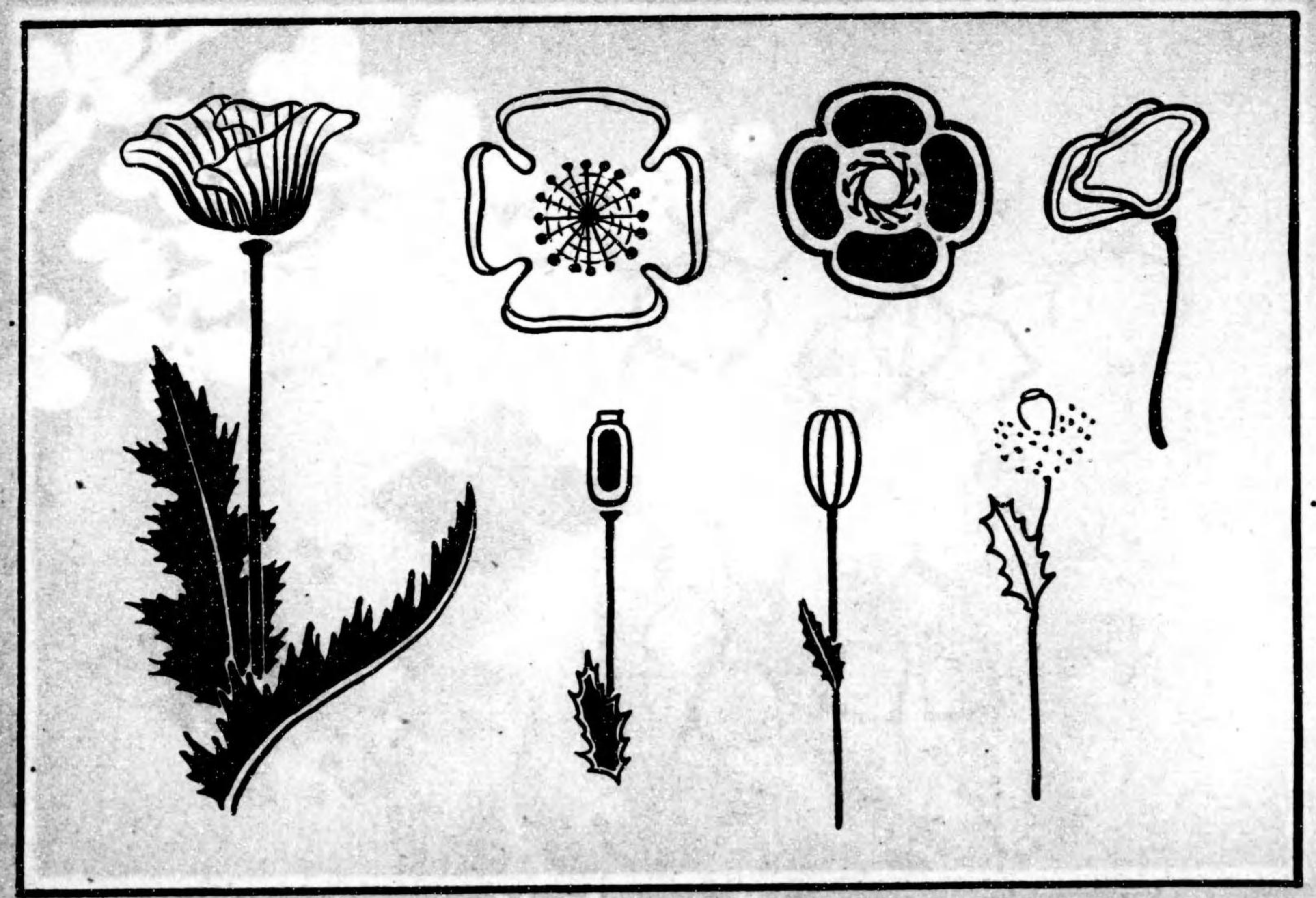


二其 いさぢあ

(第十三)

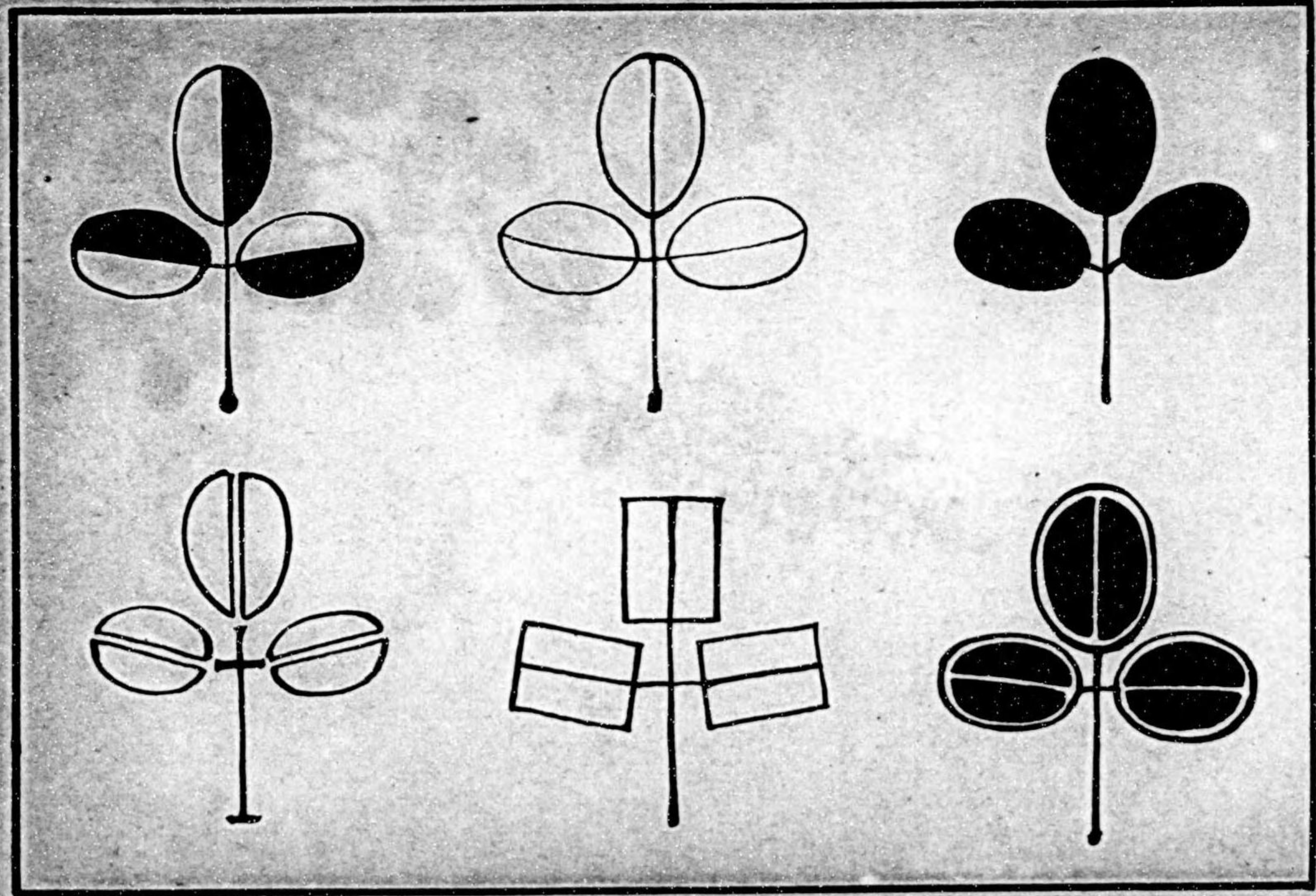


一 其 し け



二 其 し け

(第十四)



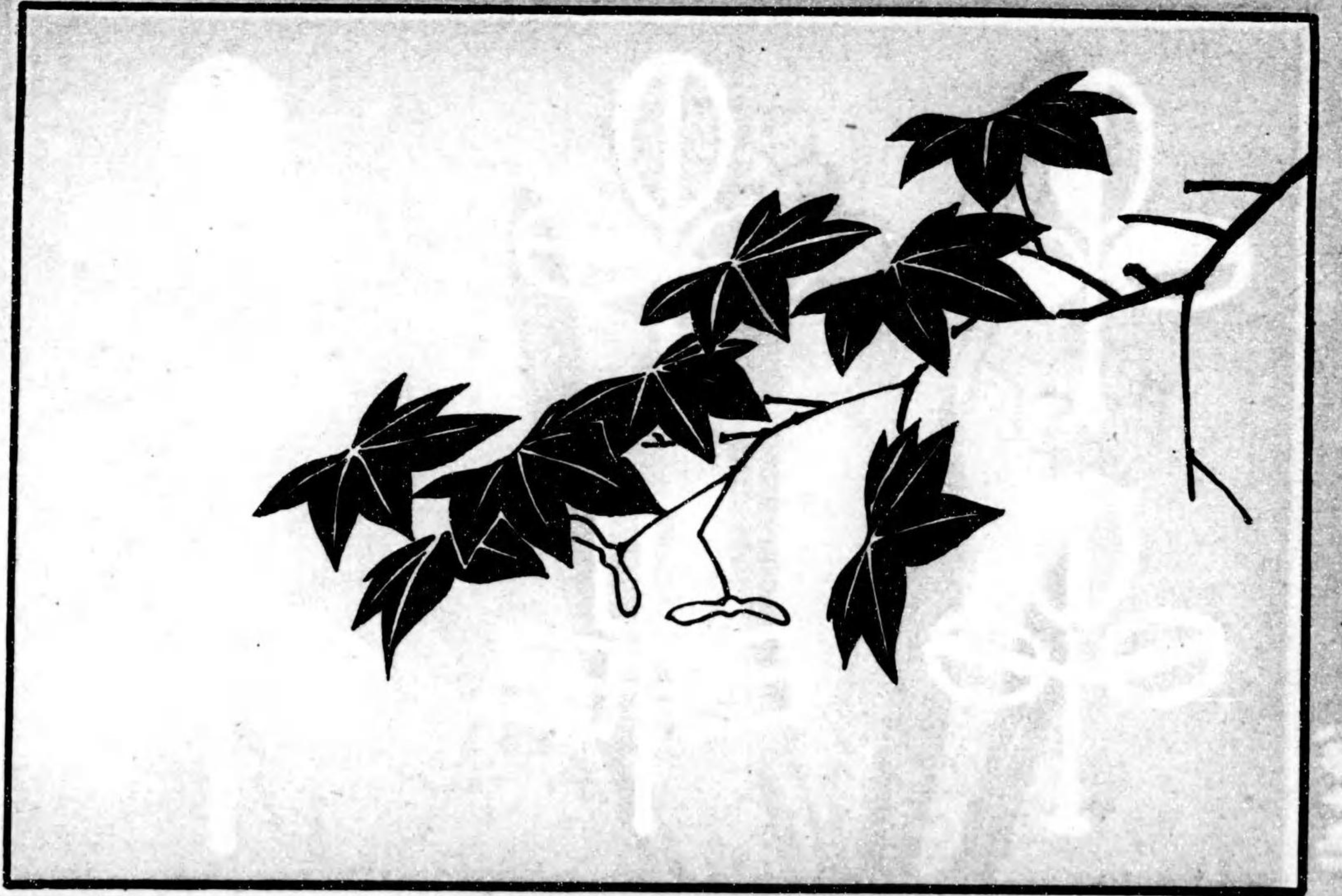
二 其 ぎ は



一 其 ぎ は

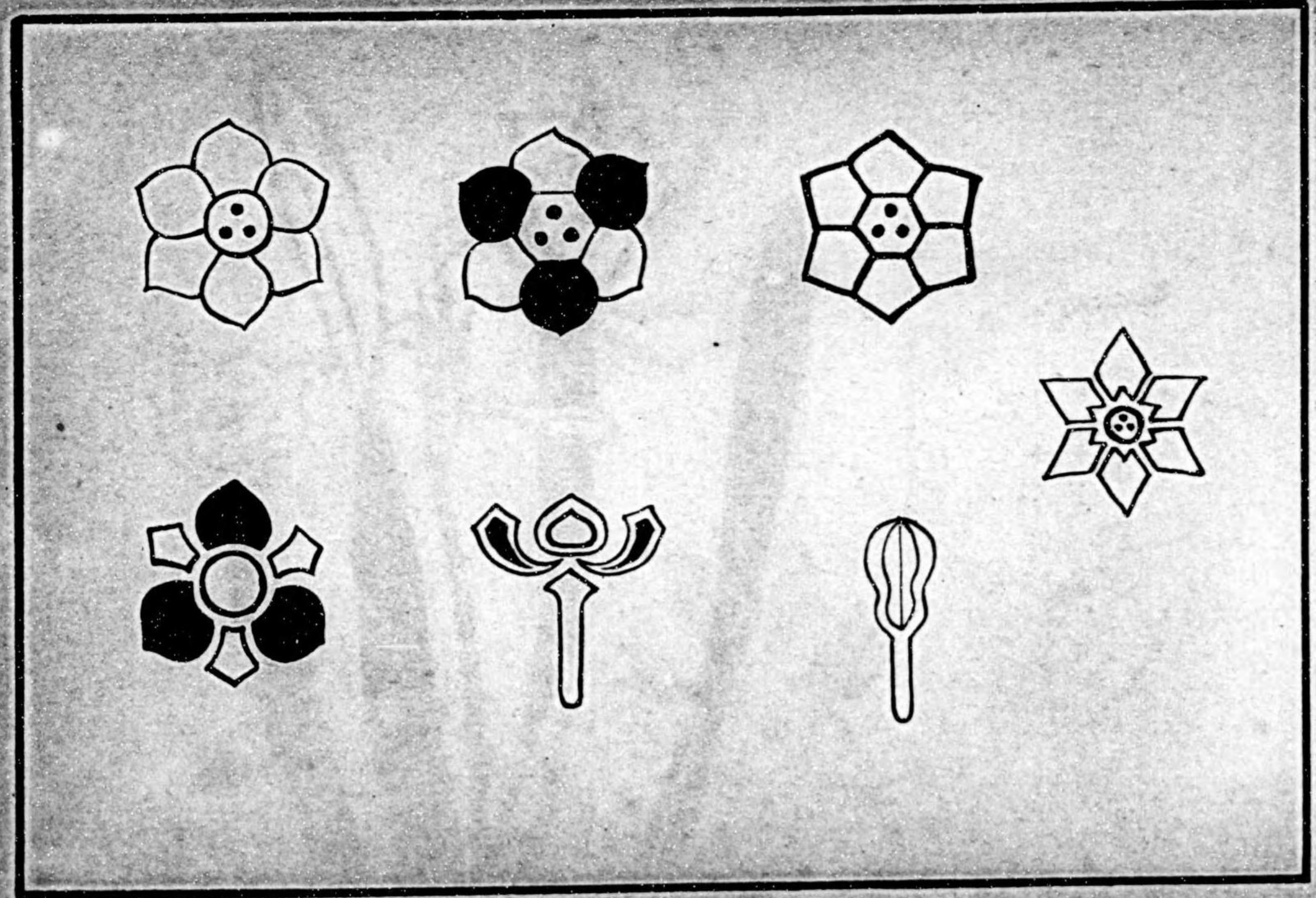


二其ちみも

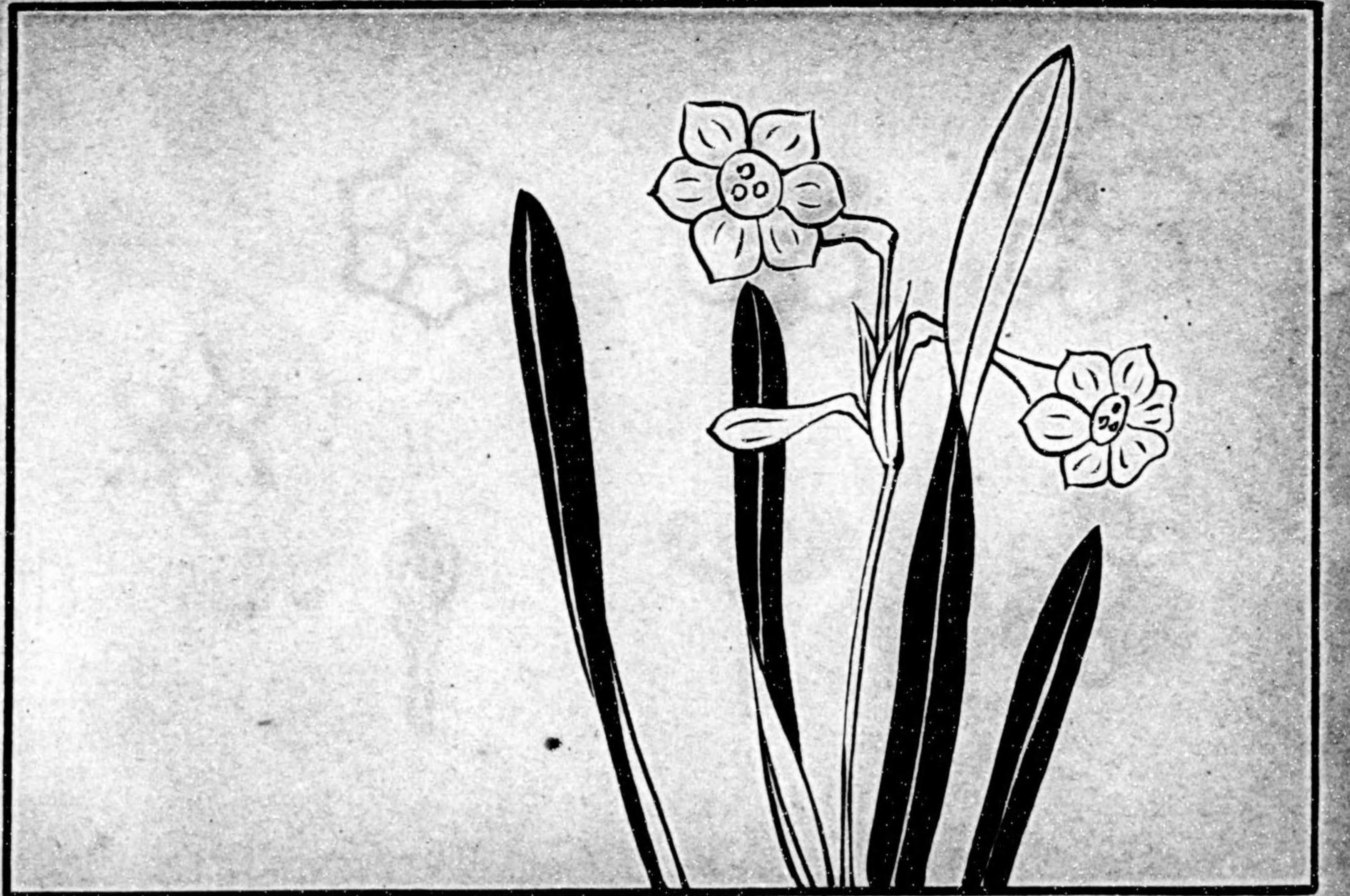


一其ちみも

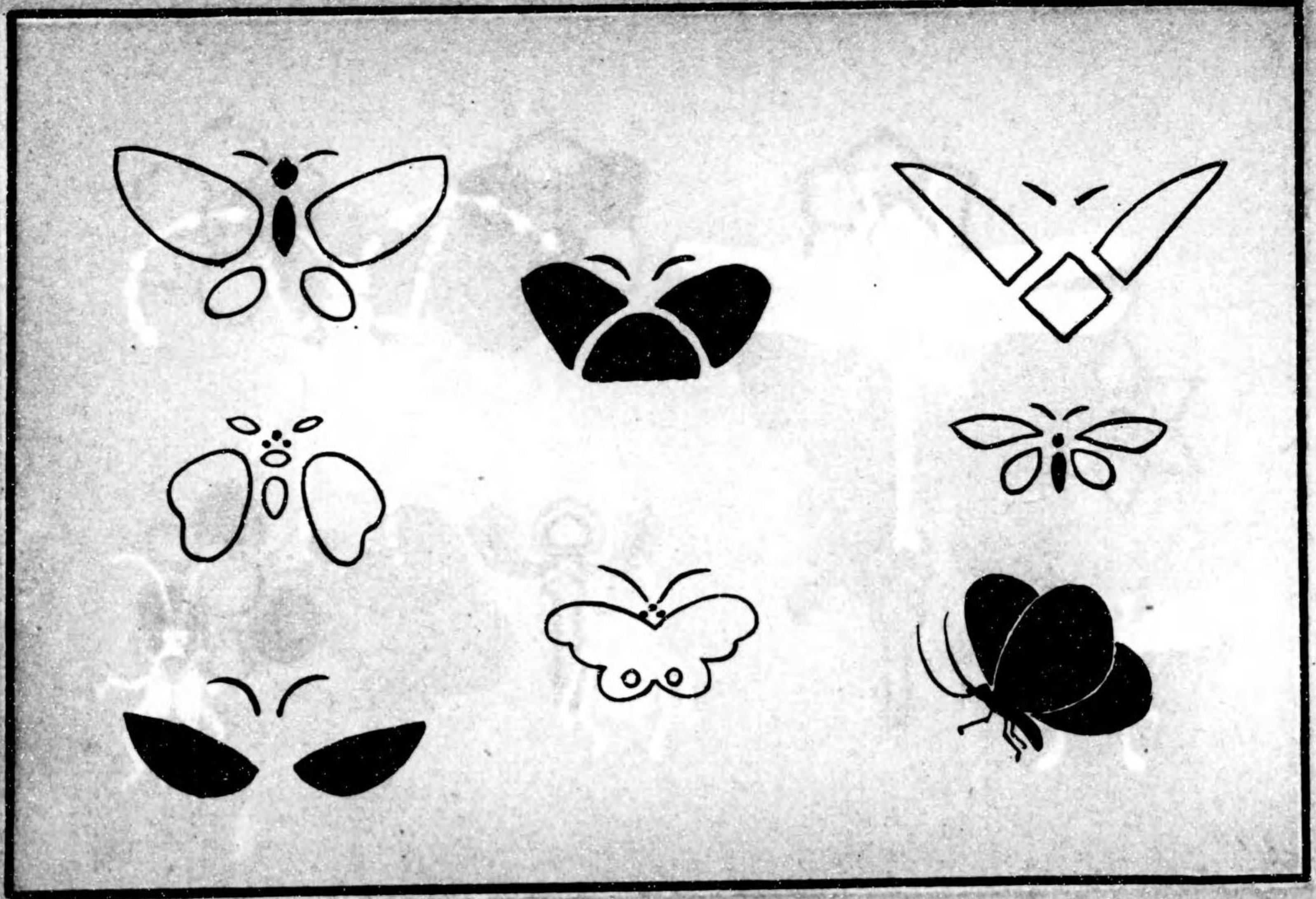




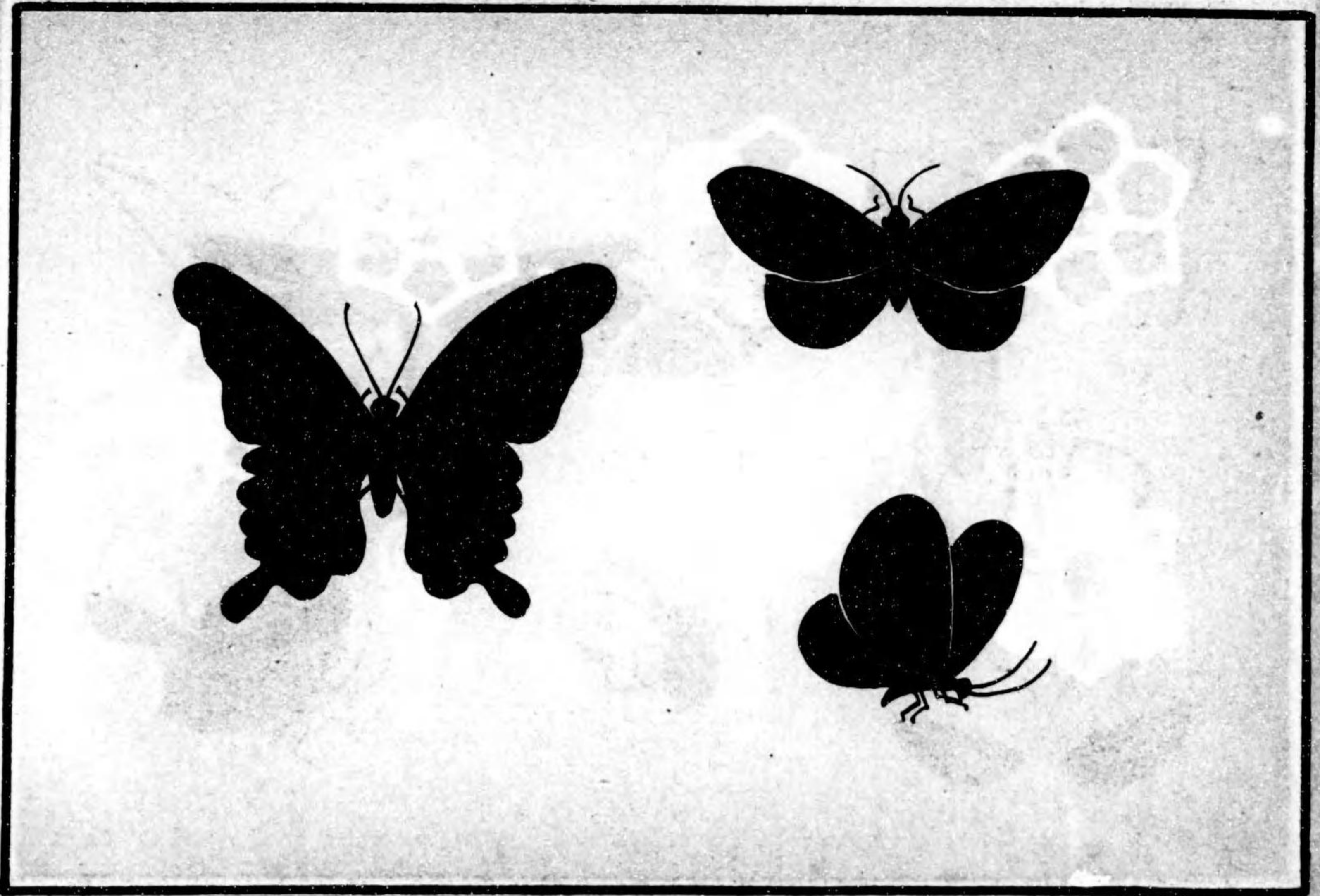
二 其 仙 水



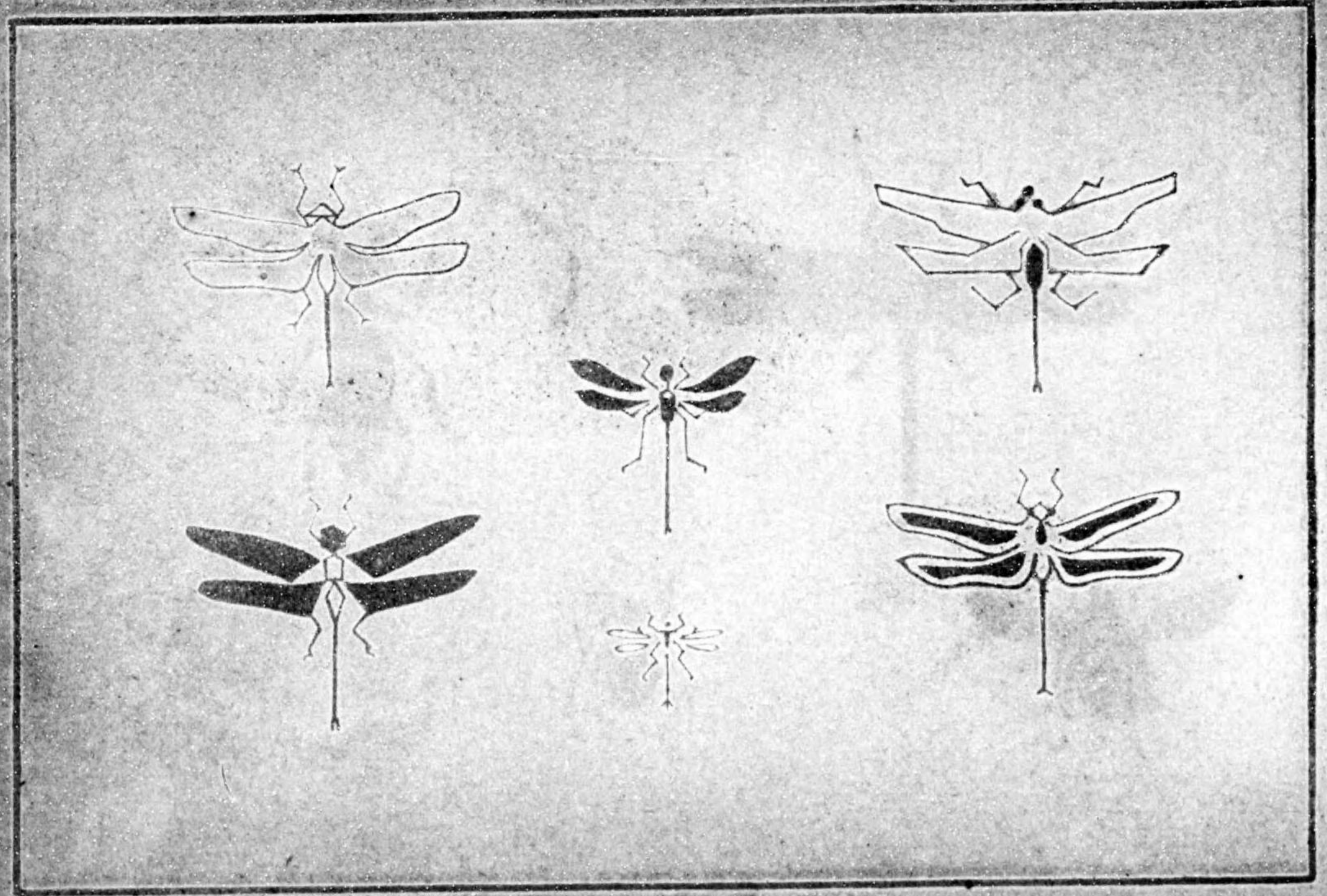
一 其 仙 水



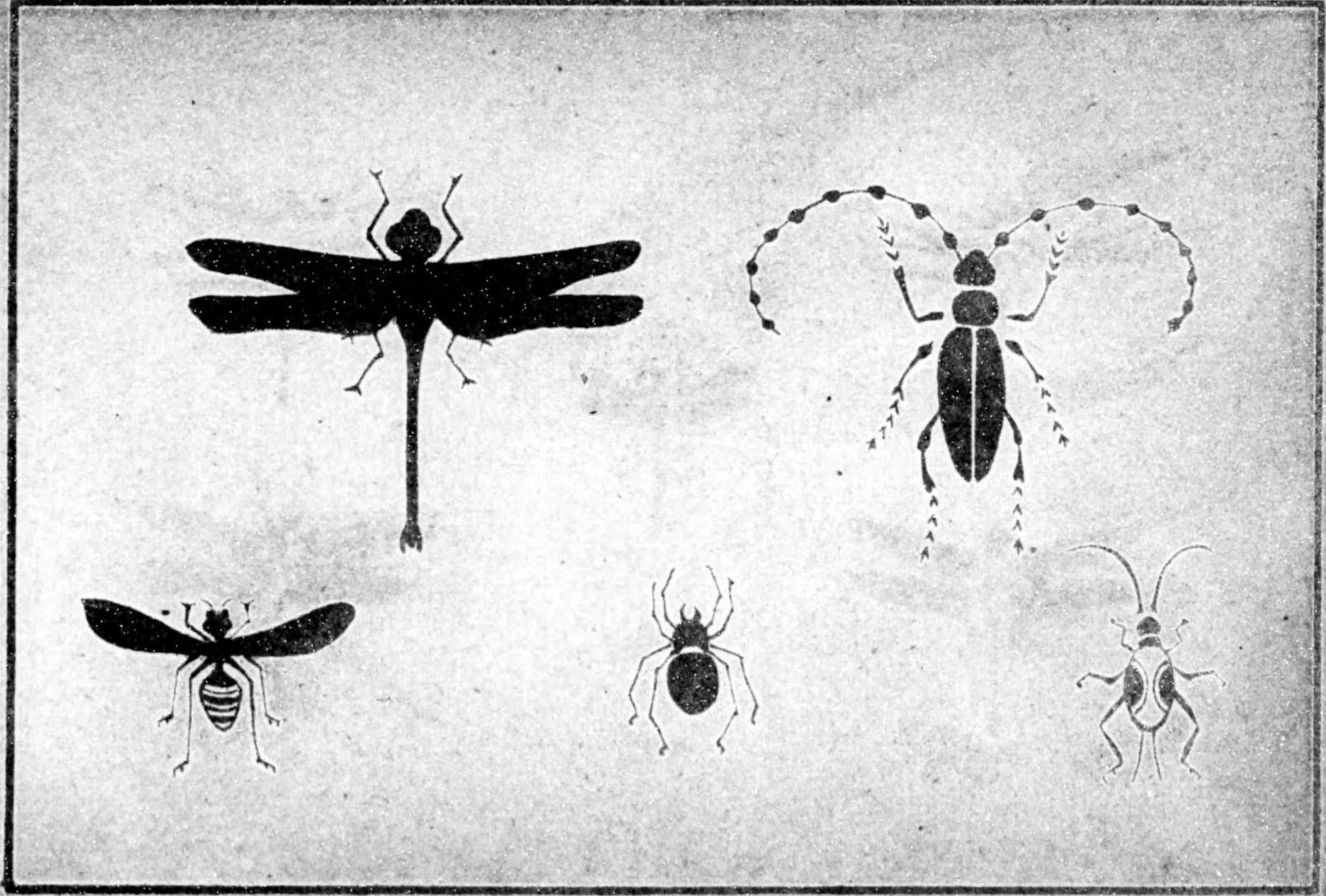
二 其 ぶ て



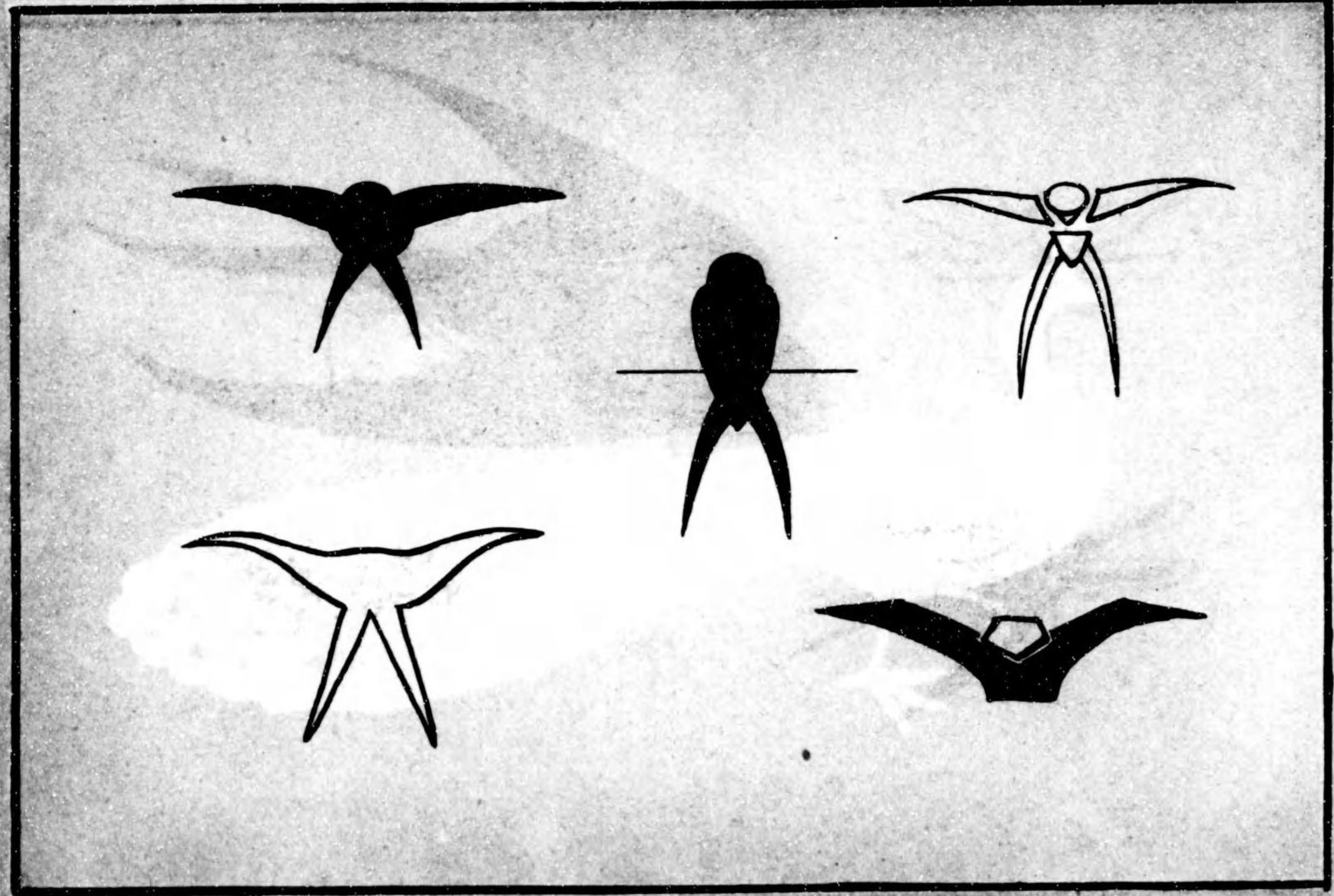
一 其 ぶ て



二 其他其蛉蜻

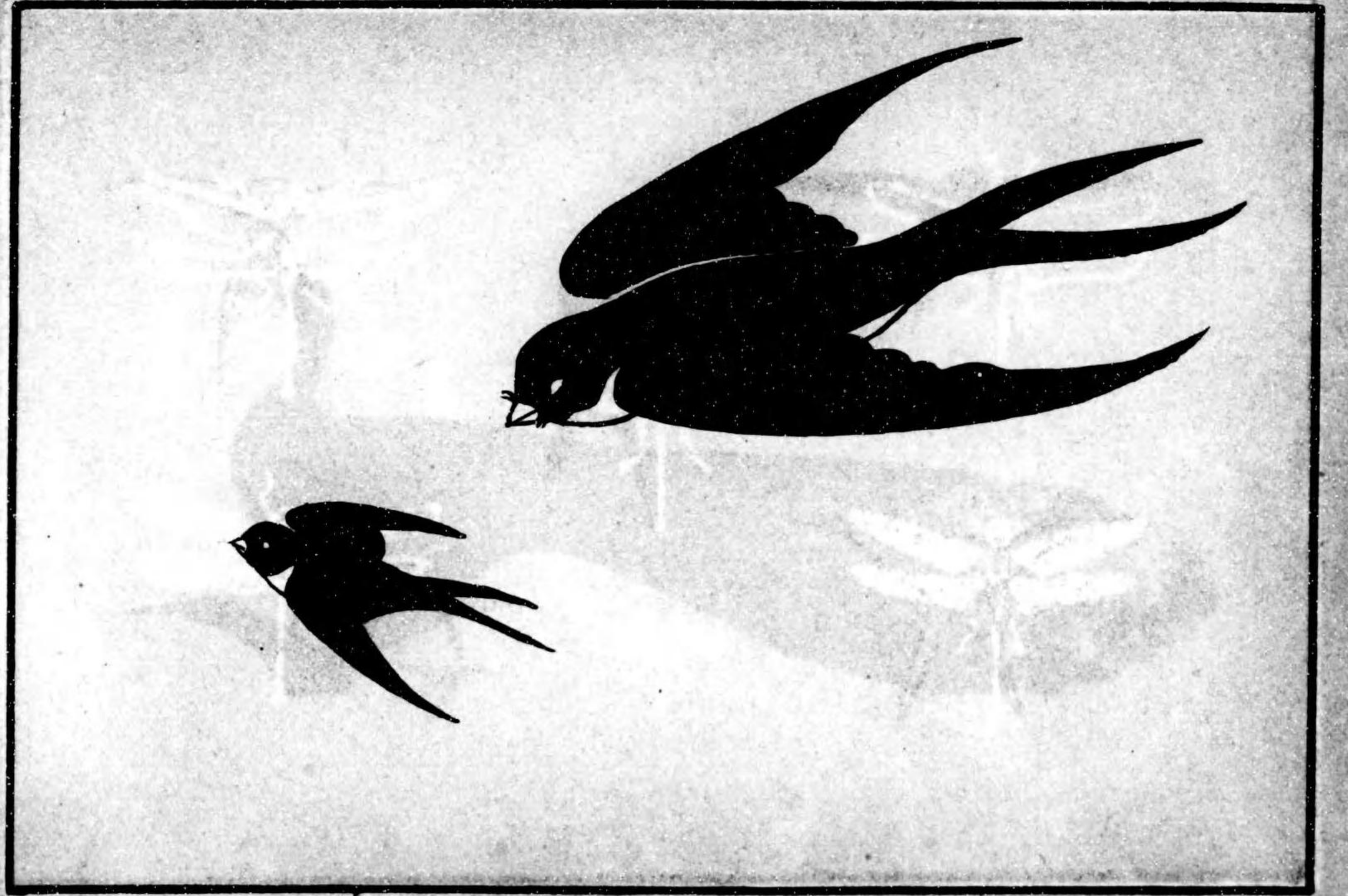


一 其他其蛉蜻

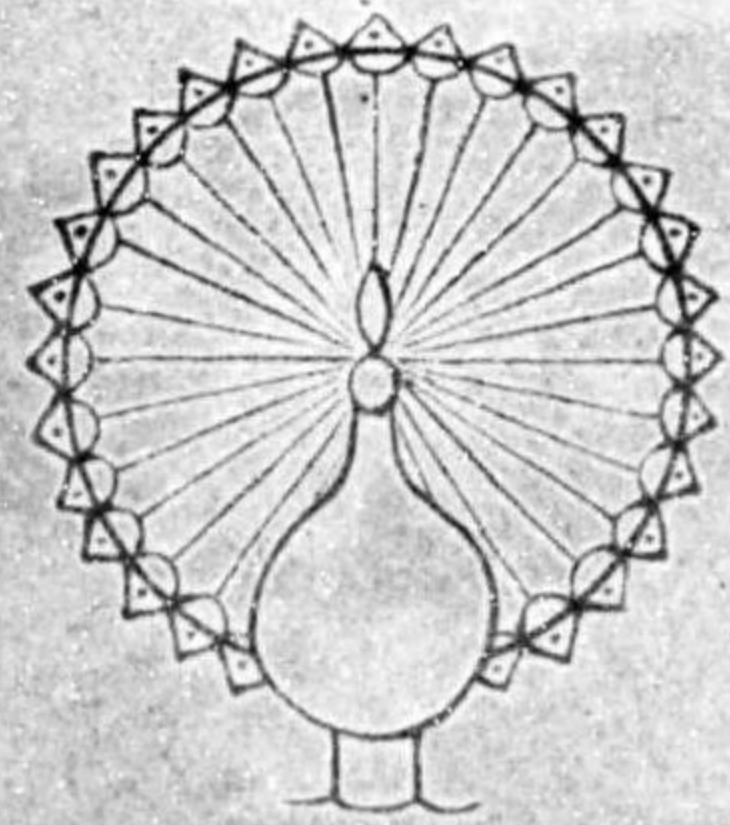
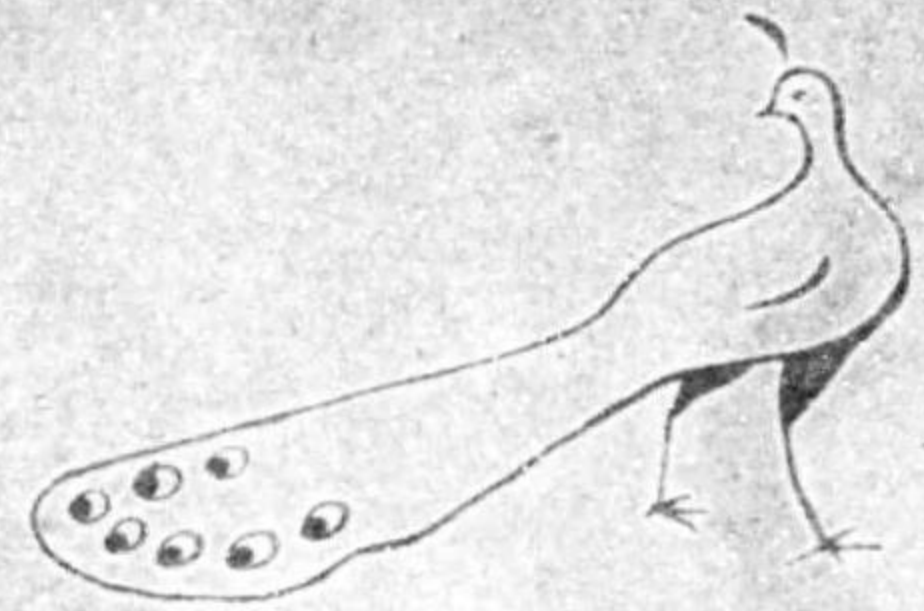
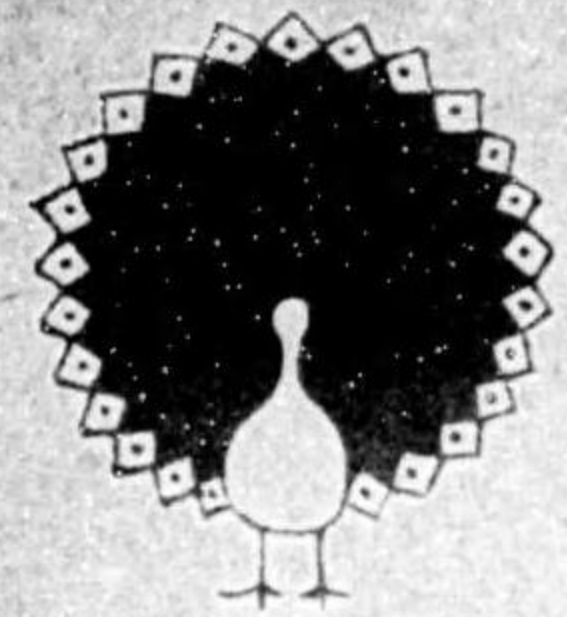


二 其 め ば つ

(第二十)



一 其 め ば つ



二 其 く や じ く

(第廿一)



一 其 く や じ く

275  
45

著作  
權  
所  
有

大正二年七月十二日印刷  
大正二年七月十五日發行

【定價廿五錢】

編者 豐口勝治

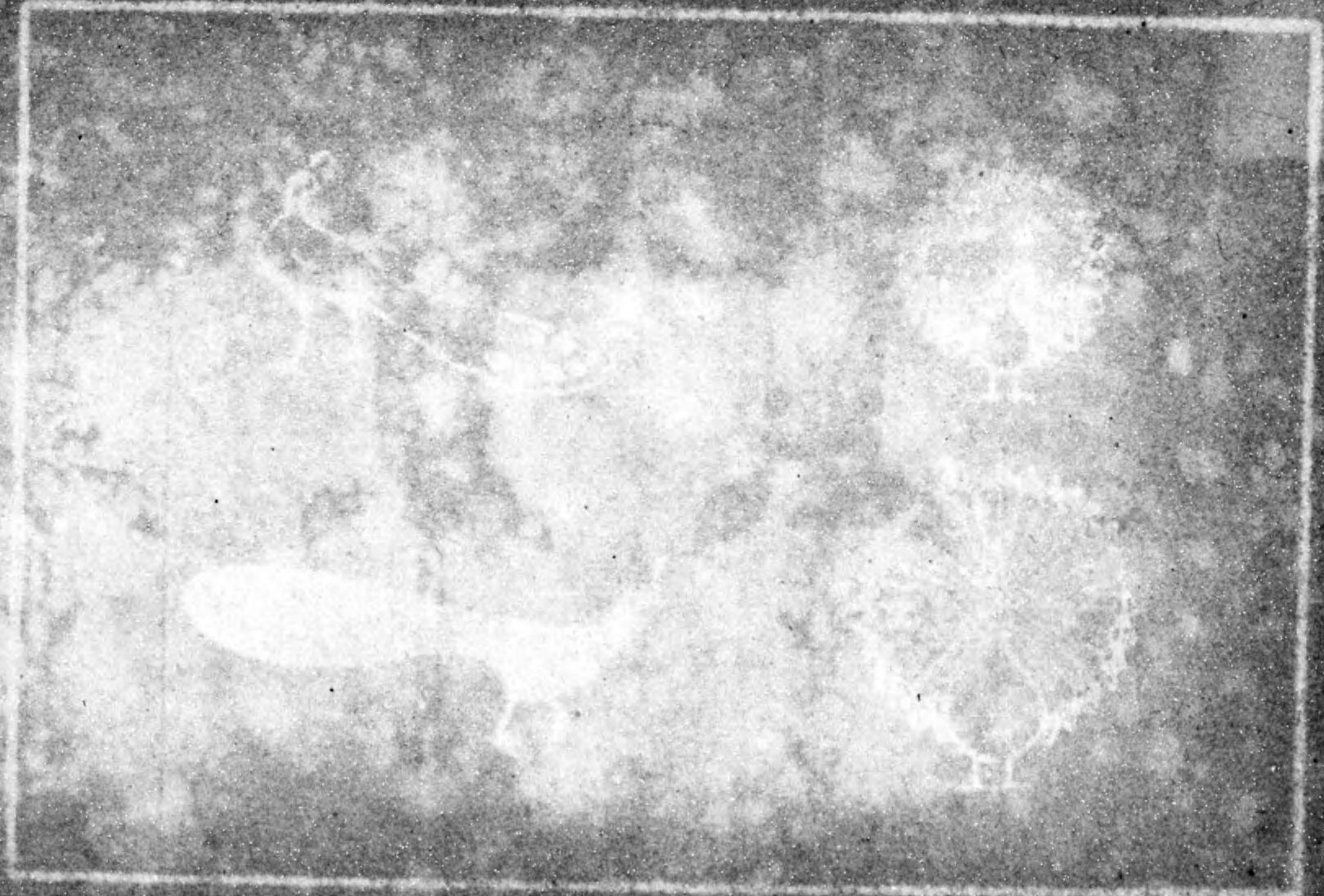
東京市芝區今入町十八番地

發行兼印刷者 久保田利之助

東京市芝區今入町十八番地

發行所 厚明社

發賣所 全國各書店



終

